

工 事 費 総 額	一 金 円
工 事 価 格	円
消 費 税 相 当 額	円

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

直接工事費種目別内訳

2

[illegible]

直 接 工 事 費 科 目 別 内 訳

3

建築工事				
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事	1	式		
土工事	1	式		
鉄筋コンクリート工事	1	式		
屋根及び金属工事	1	式		
木工事	1	式		
木製建具工事	1	式		
金属製建具工事	1	式		
左官工事	1	式		
内外装工事	1	式		
塗装工事	1	式		
エント及びその他工事	1	式		
外構工事	1	式		
計				

直接工事費細目別内訳

4

[illegible]

直接工事費細目別内訳

5

[illegible]

直 接 工 事 費 細 目 別 内 訳

6

建築工事		鉄筋コンクリート工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【鉄筋】						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	1.8	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	1.8	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	1.8	t			
【型枠工事】						
打放型枠	製作、組立、解体 50㎡程度	34.1	㎡			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	34.1	㎡			
【コンクリート】						
捨コンクリート地業 (材工共)	18N/mm2 スラブ 15cm	2.5	m3			
普通コンクリート (材料)	君津・木更津地区 24N/mm2 スラブ 18cm	17	m3			
強度補正值 (普通コンクリート) (材料)	3N/mm2 君津・木更津地区 24N/mm2 スラブ 18cm)	17	m3			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0004
計						

直接工事費細目別内訳

7

建築工事						
屋根及び金属工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【屋根工事】	材工共					
カラーガルバリウム鋼板葺	かわら棒葺 t=0.4 心木無し、通吊子	63.3	m ²			
アスファルトルーフィング	940	63.3	m ²			
軒先唐草	カラーガルバリウム鋼板葺 t=0.4	18.2	m			
ケラバ唐草	カラーガルバリウム鋼板葺 t=0.4	13.9	m			
ケラバ包み	カラーガルバリウム鋼板葺 t=0.4	13.9	m			
棟包み	カラーガルバリウム鋼板葺 t=0.4	9.1	m			
塩ビ角樋	120×120 角止まり共	18.4	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径60 2箇所 受け金具共	13	m			
集水器	カラー塩ビ角型 120用 呼び樋共	2	か所			
小計						
【金属工事】	材工共					
外壁 軽量アルミ庇	既製品 W1000xD600	1	か所			
軒裏 アルミ換気口	既製品 300x150 網付	6	か所			
自然給気口	アルミ丸型ガラリ 100φ 防虫網付 外部	4	か所			

直接工事費細目別内訳

[illegible]

直 接 工 事 費 細 目 別 内 訳

9

建築工事						
木工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【構造材】						
土台	桧 注入 4000*120*120	8	本			
土台	桧 注入 3000*120*120	1	本			
管柱	杉 3000*120*120	52	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松集成 5000*390*120	3	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松集成 5000*240*120	1	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松集成 4000*120*120	10	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松 6000*300*120	1	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松 5000*270*120	3	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松 4000*150*120	7	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松 3000*150*120	11	本			
桁、梁、頭繋、胴差	米松 4000*120*120	15	本			
母屋	杉 4000*105*105	10	本			
母屋	杉 3000*105*105	5	本			
小屋束	杉 4000*105*105	3	本			

直 接 工 事 費 細目別内訳

10

建築工事						
木工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小屋束	杉 4000*120*120	2	本			
垂木	米松 4000*45*45	42	本			
間柱	杉 3000*120*45	106	本			
筋交い	米松 4000*90*45	14	本			
筋交い	米松 3000*90*45	27	本			
火打ち梁	杉 1200*90*90	26	本			
小計						
【プレカット】						
基本加工代		89.5	m ²			
筋交い		41	本			
間柱		106	本			
火打ち梁		26	本			
構造用合板		41.4	m ²			
運搬費		1	式			
小計						

直 接 工 事 費 細 目 別 内 訳

11

建築工事						
木工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【造作材】						
幕板	杉 3650*180*25	10	枚			
広小舞・上り淀	杉 3000*120*45	11	本			
小屋筋交い、雲筋交い	杉 4000*105*30	13	本			
小屋筋交い、雲筋交い	杉 3000*105*30	12	本			
天井野縁、吊り木	杉 4000*45*40	210	本			
窓台、窓まぐさ	杉 4000*120*45	15	本			
外部胴縁	米松 4000*45*18	78	本			
軒天野縁	赤松 4000*40*30	22	本			
開口枠	桧 3000*200*40	5	本			
廻り縁	MDF(シート貼り) 4000*35*9	9	本			
幅木	MDF(シート貼り) 4000*60*9	9	本			
見切り縁	杉 3650*30*30 基礎上端部、壁出隅部	11	本			
上がり框	桧 1820*200*50	1	本			
上がり框 根太架け	杉 1820*90*45	1	本			

直 接 工 事 費 細 目 別 内 訳

12

建築工事						
木工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上がり框 根太・床束	杉 4000*45*40	2	本			
物入れ中段前框	杉 4000*100*45	2	本			
物入れ 根太	杉 4000*45*40	8	本			
物入れ 根太架け	杉 4000*100*30	2	本			
物入れ 雑巾摺	杉 1820*30*9	2	本			
棚 桁、柱	杉 4000*90*90 根太掛け45×90加工分共	12	本			
棚 根太	杉 4000*45*40	15	本			
小計						
【建材】						
野地板	構造用合板t=12	40	枚			
2階床荒床	構造用合板t=28	25	枚			
フローリング*捨て張り	構造用合板t=12	26	枚			
根太フォーム	t=33	41.4	m ²			
複合フローリング*	t=12	41.4	m ²			
物入れ天井	ワゴン合板t=5.5	2	枚			

直 接 工 事 費 細 目 別 内 訳

13

建築工事		木工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
物入れ中段	ラワン合板t=9	1	枚			
1階棚板	構造用合板t=12	12	枚			
階段	集成材 サラ共	1	式			
手すり		1	式			
クローゼット ハンガーパイプ	SUS製 φ30 取付金具共	2	本			
壁石膏ボード	t=12.5 不燃	44	枚			
壁石膏ボード	t=12.5 不燃 強化	44	枚			
壁キッチンパネル	2420*910 t=3	3	枚			
キッチンパネル見切り、 ジョイナー		1	式			
天井 化粧石膏ボード	t=9.5 準不燃	35	枚			
天井石膏ボード	t=12.5 不燃	30	枚			
点検口	アルミ450×450	3	か所			
断熱材敷込	グラスウールt50-24kg/m3	172	m ²			
金物類		1	式			
小計						

直接工事費細目別内訳

14

[illegible]

直接工事費細目別内訳

15

[illegible]

[illegible]

直接工事費細目別内訳

17

[illegible]

直接工事費細目別内訳

18

建築工事						
内外装工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【外装工事】	材工共					
窯業系サイディング	t=16 塗装品 金具止め 横張 防火構造認定品 シール共	145	m ²			
透湿防水シート張り	t=0.12	145	m ²			
出隅コーナー	外壁材同材	23.6	m			
見切縁 (軒、ケラハ)		28.5	m			
土台水切り		22.8	m			
換気孔廻り処理		9	か所			
破風板		31.1	m			
外壁材残材処理		1	式			
軒天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 突付け 不燃材認定品	12.7	m ²			
小計						
【内装工事】						
発泡複層ビニル床シート	t 2.8	1.7	m ²			
ビニル幅木	高さ60	4.2	m			
天井廻縁	塩化ビニル製	55.5	m			

直接工事費細目別内訳

19

[illegible]

直接工事費細目別内訳

21

[illegible]

直 接 工 事 費 細 目 別 内 訳

22

建築工事						
外構工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
すきとり	積み込み共 H300程度	45	m3			
積み込み		45	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホ0.28m3 土砂 DID区間無し 40.0km以下	15	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホ0.28m3 路盤材 DID区間無し 5.0km以下	30	m3			
残土処分		15	m3			
建設廃材処分費	路盤廃材 処分地区：君津	48	t			
既存ガードレール撤去	延長24.9m 処分費含む	1	式			
【敷地内舗装】						
アスファルト機械運搬		1	式			
開粒性アスファルト舗装	A-5-15 500㎡未満 アスファルト混合物・路盤材共 再生クラッシュラン	97	㎡			
コンクリート舗装	C-15-15(溶接金網共) 人力 路盤材共 再生クラッシュラン	13.1	㎡			
車止め	上下式 (株)サンポール LA-5K同等品以上	8	か所			
コンクリート縁石	150×150 材工共	3	m			
【コンクリート擁壁】						
コンクリート擁壁	延長35.5m	1	式			別紙 00-0006

直接工事費細目別内訳

23

[illegible]

直 接 工 事 費 別紙明細

24

建築工事		直接仮設工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ネット状養生シート張り (運搬費共)	防災1類	1	式			別紙 00-0001
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 基本料 修理費含む -	196.6	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 掛払い手間 -	196.6	m ²			
ネット状養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 供用1日賃料 修理費含む -	196.6	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		196.6	m ²			
計						
内部仕上足場 (運搬費共)	脚立足場	1	式			別紙 00-0002
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	80	m ²			
内部仕上足場	供用1日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	80	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	80	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	80	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

直接工事費別紙明細

28

建築工事		外構工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート擁壁	延長35.5m	1	式			別紙 00-0006
根切り	小規模土工 -	10.6	m3			
床付け	つぼ, 布掘り	30.2	m ²			
積み込み		10.6	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホ0.28m3 土砂 DID区間無し 40.0km以下	10.6	m3			
残土処分		10.6	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	3	m3			
捨コンクリート地業 (材工共)	18N/mm2 スランプ 15cm	1.5	m3			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.12	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.24	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.4	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.4	t			
打放型枠	運搬共	85.2	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	85.2	m ²			
型枠目地棒	化粧目地 幅20 ×深さ10程度	18.9	m			

直 接 工 事 費 別紙明細

29

建築工事						
外構工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート擁壁	延長35.5m	1	式			別紙 00-0006
普通コンクリート (材料)	君津・木更津地区 21N/mm2 スラブ 18cm	9.5	m3			
強度補正值 (普通コンクリート) (材料)	3N/mm2 君津・木更津地区 21N/mm2 スラブ 18cm)	9.5	m3			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0006/00-001
打放し面補修		28.4	m ²			
計						
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0006/00-001
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	9.5	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
計						

直接工事費別紙明細

30

[illegible]

直接工事費別紙明細

31

建築工事		外構工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎	800*800 D=2400 切込碎石	1	式			別紙 00-0008
根切り	小規模土工 -	4.8	m3			
床付け	つぼ, 布掘り	0.09	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	4.2	m3			
敷きならし	締め固め共	0.6	m3			
砂利地業	切込碎石	0.03	m3			
型枠(複合板)	小型構造物用型枠 - -	3.2	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	3.2	m ²			
普通コンクリート (材料)	君津・木更津地区 24N/mm2 スラブ 18cm	0.6	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 -	0.6	m3			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.6	m ²			
計						

共通仮設費（積上分） 明細

32

[illegible]

施 工 条 件 明 示

工事名 袖ヶ浦市消防団第 15 分団詰所建設工事（建築工事）

明 示 項 目	明 示 事 項
(1) 工 程 関 係	1. 本工事に係る工期は令和 9 年 3 月 15 日までとする。 2. 監督職員及び施設管理者と協議の上、別発注の設備工事と調整し実 施工程を組むこと。
(2) 用 地 関 係	1. 特になし。
(3) 公 害 対 策 関 係	1. 本工事の施工について、公共建築物標準仕様書に基づく方法による ものとするが、万一公害が生じたり、また、生ずる恐れのある場合 には別途協議する。 2. 道路等について、粉塵等により公衆に迷惑を及ぼすことのないよう 注意すること。 3. 建設機械は、排出ガス対策型及び低騒音・低振動型を使用すること。
(4) 環 境 対 策 関 係	1. 大気汚染防止法の一部を改正する法律（令和 2 年法律第 39 号）に 基づき、解体工事等において、石綿含有建材の有無について目視又 は分析等の事前調査を行うこと。また、該当する場合は当該調査の 結果を所定の方法にて県及び発注者等へ報告すること。
(5) 安 全 対 策 関 係	1. 工事の施工にあたり、関係者と十分協議するとともに、第三者に事 故の起こらぬよう十分に配慮し安全対策を実施すること。 2. 必要に応じ、現場出入口、公道等に誘導員を配置させ安全確保に留 意すること。 3. 作業時間帯以外であっても異常気象時には、パトロール（状況の確 認）を実施し、異常があった場合は速やかに監督職員へ報告すると ともに、交通等の支障とならないよう応急処置を施すこと。 4. 足場の設置に先駆け、必要に応じて労働基準監督署への届出を実施 すること。
(6) 工 事 用 道 路 関 係	1. 敷地内の搬入、搬出経路については事前に協議すること。 2. 搬入路に使用した、既設道路の補修が必要となった場合原形復旧す ること。
(7) 仮 設 備 関 係	1. 工事影響箇所は十分養生し、工事完了後は安全・衛生上、問題のな いよう清掃すること。 2. 仮設計画図を参考に仮囲い等を設置する。なお、構造は請負者の責 任において、安全性を検討し決定するものとする。
(8) 残土・産業 廃棄物関係	1. 残土関係の搬出は特記仕様書のとおりとする。ただし、契約締結後 に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監 督職員と協議するものとする。

	2. 特定建設資材廃棄物の処理施設は、監督職員と事前に協議を行い決定すること。 3. その他、特記仕様書による。
(9) 工事支障物件等	1. 工事着手前に支障物件の確認を行い、適切な処置を講じること。
(10) 排水関係	1. 施設内の排水溝には汚濁水は流さないよう注意すること。
(11) 薬液注入関係	1. 特になし。
(12) その他	1. 施工にあたっては関係法令を厳守するとともに、事前に監督職員と十分打合せを行いその指示に従うこと。 2. 工事に関連する届出について、受注者の負担にて行うこと。 3. 本契約締結後、建築確認申請等の届出に関する内容に変更が生じた際には監督職員と協議の上、対応すること。

リ サ イ ク ル 計 画 書（積算段階）

工事担当者が作成し、設計書に添付

1. 事業（工事）概要

発 注 機 関 名	袖ヶ浦市	工 事 名	袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）
施 工 場 所	袖ヶ浦市神納2420番3	工 期（ 予 定 ）	令和8年 月 日～令和9年3月15日
工 事 概 要 等	消防分団詰所新築工事一式 木造2階建て（敷地面積162.09㎡、建築面積44.71㎡・延床面積89.42㎡）		

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③) / ①×100	備 考
土 砂	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
砕 石	43.5 トン	トン	43.5 トン	トン	100 %	
アスファルト・コンクリート	85.8 トン	トン	トン	85.8 トン	0 %	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ アスファルト・コンクリートの欄には、車道排水性及び歩道透水性舗装用アスファルト混合物の利用量は含めないものとする。

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類		⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥) × 100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩) / ⑥ × 100	備 考
建設発生土	第1種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第2種 建設発生土	43.6 地山m3	地山m3	地山m3	43.6 地山m3	地山m3	%	100 %	
	第3種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第4種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	泥土（浚渫土）	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	合 計	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
コンクリート塊		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
アスファルト・コンクリート塊		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設汚泥		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設混合廃棄物		トン	トン	トン	トン	—	%	%	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。⑤泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

※ 建設発生木材の中には、伐間除根材及び剪定材を含む。

※ 建設汚泥、建設発生木材及び建設混合廃棄物の「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。

※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。

袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-01	特記仕様書 1	—
A-02	特記仕様書 2	—
A-03	特記仕様書 3	—
A-04	特記仕様書 4	—
A-05	特記仕様書 5	—
A-06	特記仕様書 6	—
A-07	配置図・案内図	1/100
A-08	求積図	1/100
A-09	仕上表	—
A-10	平面図・屋根伏図	1/100
A-11	立面図・断面図	1/100
A-12	平面詳細図	1/50
A-13	矩計図	1/30
A-14	階段詳細図	1/30
A-15	展開図(1)	1/50
A-16	展開図(2)	1/50
A-17	建具表(1)	1/50
A-18	建具表(2)	1/50
A-19	床伏図・小屋伏図・天井伏図	1/100
A-20	軸組図	1/100
A-21	基礎伏図・配筋図	1/50 ・ 1/20
A-22	外構図	1/100
A-23	ホース乾燥塔詳細図	1/50
A-24	仮設計画図	1/100

工 事 名 称

袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）

仕 様 書

第 1 工 事 概 要

1. 工 事 場 所

袖ヶ浦市神納2420番3

2. 敷 地 面 積

162.09㎡

3. 主 要 用 途

その他（消防団員詰所）

4. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階数	建築面積	延べ面積	諸 室
機械器具置場・詰所	木造	地上2階	44.71㎡	89.42㎡	車庫、機械器具置場 洋室、台所、便所

第 2 建 築 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様 書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）及び公共建築木造工事標準仕様書（共に最新版）」による。

2. 特 記 仕 様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項は○のついたものを適用する。
○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
○印と※印のついた場合は、○に適用する。

3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4）(G)印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下グリーン購入法）という）の特定調達品目を示す。

章 項 目

特 記 事 項

① 一般共通事項

① 適用基準等

※ 公共建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年改定））
※ 建築工事等写真撮影要領（令和5年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
※ 建築工事安全施工技術指針（同解説）（建設大臣官房官庁営繕部監修）
※ 建設工事公共災害防止対策要綱（建築工事編）（国土交通省住宅局建築指導課監修）
※ 千葉県福祉のまちづくり条例（施設整備マニュアル）
※ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・ 建築物解体工事共通仕様書・同解説（国土交通省官庁官庁営繕部監修（最新版））

② 工事実績情報の登録

※ 本工事の最終請負代金（消費税込）が、500万以上となる場合には、工事実績情報システム（GORINS）に基づき工事実績データを作成する。
また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に（一財）日本建築情報総合センターに所定の手続きにより登録するとともに、登録内容確認書の写しを提示する。（1.1.4）

1）工事受注時

契約締結後10日以内

2）登録内容の変更時

契約事項の確定日から10日以内

3）工事完成時

契約完成後10日以内

③ 電気保安技術者

・ 適用しない（1.3.3）
・ 適用する（ ・ 自家用電気工作物 ・ 一般電気工作物 ）
ただし、自家用電気工作物の場合は1.3.3(a)～(c)の他、次によるものとする。
工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者（ ）の任命する監督職員の指示に従い保安業務を行う。

④ 工事電力設備の保安責任者

・ 工事用電力設備の保安責任者は千葉県自家用電気工作物保安規程第二十条の3により使用区域を変更しようとする場合において保安監督者（電気監督職員）に「自家用電気工作物使用区域変更届書」を提出すること。（1.3.4）

⑤ 条件明示項目

※ 別紙「施工条件明示」参照

⑥ 発生材の処理

※ 監督職員の指示により処理を行う

⑦ 建築材料等

※ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3)安定的な供給が可能であること

(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
また、本工事において使用する材料が県内において生産されるものについては、優先して使用するよう配慮する。
※ 環境配慮物品調達方針に基づき環境に配慮した物品を優先的に購入するように配慮する。

⑧ 化学物質を発散する建築材料等

※本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。

1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

3）接着剤はフタル酸ジ－ブチル及びフタル酸ジ－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

4）塗装はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

5）1）3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。（1.5.9）
規制対象外

1）JIS及びJASのF★★★規格品

2）建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

3）下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

章 項 目

特 記 事 項

⑨ 特別な材料の工法

10. 一般技能士

第三種

1）JIS及びJASのF★★★規格品

2）建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品

3）JISのE0規格品

4）JISのF00の規格品

※ 標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

・ 適用する

・ 適用しない

(1.5.2)

適用工事種別	技 能 検 定 作 業
仮設工事	・ とび作業
鉄筋工事	・ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	・ 型枠施工 ・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・ 構造用鉄工事作業 ・ とび作業
コンクリートブロック	・ コンクリートブロック工事作業 ・ ALCパネル工事作業
防水工事	・ アスファルト防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート－トーチ工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
石工事	・ 石張り作業
タイル工事	・ タイル張り作業
木工事	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	・ 内外装板金作業 ・ スレート工事作業
金属工事	・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外装板金作業
左官工事	・ 左官作業
建具工事	・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業
塗装工事	・ 建築塗装作業
内装工事	・ カーペット系床仕上作業 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ 壁装作業
排水工事	・ 建築配管作業
舗装工事	・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	・ 造園工事作業

⑩ 化学物質の濃度測定

※施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、報告すること。（1.5.1）
※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ・ パラジクロロベンゼン(用途が学校の場合、上記項目に追加する。)
測定はバッシュ型採取機器により行う。
着工前の測定 ※ 行わない ・ 行う
測定対象室 ※ 図示 ※ 洋室 ・ 台所
測定箇所数 ※ 図示 ※ 各室1箇所
測定数値が厚生労働省指針値を超えた場合は、換気後再測定し報告書を提出すること。

※ 木材保存（木材の防腐・防蟻処理）剤は、クロルピリホスを含有しない非有機リン系の薬剤とする。（12.3.1）

⑪ 木質保存剤

木材の防腐・防蟻処理方法（12.3.1）(12.3.2)
木材の防腐・防蟻処理は工場において加圧式により行い、十分乾燥した後に現場へ搬入すること。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布することとする。

⑫ 材料試験

※ コンクリート圧縮試験及び鉄筋の引張等試験については、千葉県建設技術センター等の試験機関で実施すること。

⑬ 施工図等の取扱

※ 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

⑭ 設備工事との取合い

※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑯ 完成図等

下記（1）～（3）を工事引継書により引継ぐこと。（1.7.1～3）

(1) 工事写真 1部

(2) 完成写真（撮影業者 ※ 監督職員の承諾する撮影業者 ・ ）

分 類 ・ 規 格	撮影箇所数	部 数
※ カラー	※ キヤノン版 ・	現場指示による ※ 1部

(3) 完成図等

二つ折製本（A4版） ・ 2部 ・
(電子納品CDを袋に入れ紐じ込む)

章 項 目

特 記 事 項

① 電子納品

① 本工事に係る完成図書の納品方法は原則電子納品（発注者指定型）とし、「袖ヶ浦市建設工事電子納品運用ガイドライン」に基づき納品すること。
ただし、電子納品が困難な場合は、初回打合せ時に発注者と協議すること。

② 本工事では、設計図CADデータを貸与（ ・ しない ）。
設計図CADデータを貸与する場合の著作権は（ 袖ヶ浦市 ）であり、貸与するCADデータを当該工事の施工図又は完成図の作成以外に目的に使用してはならない。

③ 安全対策

※ 受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。
※ 発注者で組織する安全対策委員会が行う審査、検討、安全点検等に協力すること。

④ 保険

※ 本工事の完成引渡まで工事目的物及び工事材料を火災保険、建設工事保険その他の保険に附すること。

(1) 被保険者

発注者、受注者及びその全下請負人

(2) 保険金額

請負代金全額

(3) 保険期間

工事の着工時から工事完成期日後14日までの期間

なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを直ちに監督職員に提示すること。

⑤ 設計G L

21. 施設点検

※ 図示 ・ 設計G L＝現状G L

⑥ 過積載による違法運行の防止

※ 工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

1. 積載重量制限を超過して土砂を積み込みます。また積み込ませないこと。

2. さし持装着車、不表示車等に土砂を積み込みます。また積み込ませないこと。

3. 過積載車両、さし持装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようすること。

4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし持装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5. 建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者、骨材等納入者の利益を不当に害しないようにすること。

6. 以上の内容を、下請業者に十分指導すること。

⑦ 環境対策

※ 受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と、円滑な工事施工を図ること
・ 受注者は、千葉県が運用を開始している環境マネジメントシステムの構成要素をなす「公共事業における環境影響の低減」を推進し、達成するため、施工計画書の”環境対策”内に、独立した項目として「環境に配慮した工事の実施計画」について記載するものとする。「実施計画書」には次の内容を記載すること。

・ 大気汚染対策 ・ 騒音、振動対策 ・ 水質汚濁対策 ・ 地盤沈下対策

・ 防塵対策 ・ 一般廃棄物対策 ・ 交通障害対策 ・ その他（ ）

※ 建設機械は、排ガス対策車及び低騒音型を使用すること。
※ 特定粉じん排出等作業（法定外建築物・作業を含む）は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施行する。
※ 本工事で使用する軽油については、JIS規格軽油を使用すること。
※ 受注者は、農林事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の採取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。
※ 国等による環境物品の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び荷役は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。

⑧ 工事現場管理

※ 受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

1. 不法・違法無軌跡（不法パーソナル無軌）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。

⑨ 中間検査

・ 中間検査を実施する（回数 3 回、実施時期 鉄筋・建方・屋根外壁 完了時）

⑩ 設計変更等

※ 設計変更等については、契約書第19条から第26条及び公共建築工事標準仕様書建築工事編1-1.1.8から1-1.1.10に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「営繕工事請負契約における設計変更が「行方」(案)」を準用することとする。

⑪ 創意工夫

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

⑫ その他

本工事は、週休2日促進工事である。受注者は、原則週休2日で施工すること。
週休2日の実施に当たっては、「袖ヶ浦市週休2日促進工事試行要領（営繕工事）」に基づき行うこと。

章 項 目

特 記 事 項

② 仮設

① 監督職員事務所

※ 設ける ※ 設けない（2.3.1）

監督職員規模

・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 ・

構内既存の施設

・ 利用できない ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償）（2.3.1）

構内既存の施設

※ 利用できない ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償）（2.3.1）

・ 成型鋼板

※ 単管＋シート張り

・ 鋼板敷き

※ 別契約の関係業者がある場合は、当該業者に無償で使用する。

② 工事用水

③ 工事用電力

④ 仮囲い

⑤ 仮設道路

⑥ 仮設足場

※ 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、又は改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能（二段手すり及び幅木の機能を含む）を確保するものとする。
※ 別契約の関係業者がある場合は、当該業者に無償で使用する。

③ 土工事

① 埋めどし及び盛り土

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種（3.2.3）（表3.2.1）
・ 建設汚泥から再生した処理土 (G)
千葉県条例に基づく「建設発生土管理基準」及び「建設副産物処理基準」（別記-1）に基づき適正に処理すること。

・ 構内指示の場所に数なし

・ 構内指示の場所に堆積

※ 構外搬出適切処理

(3.2.5)

② 建設発生土の処理

④ 地業工事

①. 既製コンクリート杭地業

種類（4.3.2）

	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	長期設計支持力	継手数	セプト数	備 考
本 杭						
		構造図による				

先端部形状

・ 開放形 ・ 閉そく平坦形状（4.3.2）

杭の継手

・ 建築基準法に基づく指定機関において性能評価を受けた無溶接継手（4.3.6）
・ 使用してもよい。

杭頭の処理

・ 切断しない ・ 構造図による（4.3.7）

施工法

・ H13国交告示1113号第6による支持力算定式で $\alpha = 2.5$ の程度を採用できる工法
・ H13国交告示1113号第6による支持力算定式で $\alpha = \beta = \gamma =$
を採用できる工法
工法 ・ プレボーリング拡大根固め工法 ・ 中掘拡大根固め工法
杭周固定法 ・ 使用する

②. 場所打ちコンクリート杭

コンクリート種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

（ ）種かつ（ ）N/mm2以上

5号鉄筋工事の鉄筋の種類による。（4.5.3）

鉄筋の種類

セメントの種類

掘削工法

・ 高炉セメントB種（G）
・ アースドリラ工法（※安定液使用 ・ 無水掘削）（4.5.4～5）
・ リバース工法
・ オールケーシング工法（孔内の水漲 ※行う ・ 行わない）
・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・ 底底杭工法（※安定液使用 ・ ）
・ 行う（ ） ・ 行わない（4.5.4）

側壁測定

※ 再生クラッシャーラン（G） ・ 切込み砕石（4.6.3）

③ 砂利地業

④ 床下防湿層

ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上重ね幅縦横共250mm以上
施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）（4.6.5）

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類

(5.2.1)(表5.2.1)

種 類 の 記 号	呼 び 名 (mm)
※ S D 2 9 5 A	※ D13以下
・ S D 3 4 5	・ D19以上
・	
・	

② 鉄筋の継手

・ ガス圧接 ※ 重ね継手（5.3.4）

③ 鉄筋の最小かぶり厚さ

・ 最小かぶり厚さは目地底から算定する。（5.3.5）
・ 耐久上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施 工 箇 所	表5.3.6の値に加える寸法 (mm)
柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打放し面	※ 10 ・

④ 既製コンクリート杭の杭頭補強

・ A型 ・ B型（別1.1）

⑤ 最上階柱頭補強

・ 行う ・ 行わない（別2.1）

⑥ 帯筋

・ H型（口は除く）（別2.2）

⑦ 壁開口部の補強

一般型 ・ A型 ・ B型 ・ 図示（別4.2）(別表4.3～4)

⑧ 梁貫通孔の補強形式

・ H形 ・ MH形 ・ M形 ・ 図示（別7.1）(別表7.1～3）
・ (財)日本建築センター評定品又は建設技術評価規定の評価を受けたもの

⑨ 機械吊上げ用フック

・ A種 ・ B種 ・ C種 （ヶ所）（別7.3）

⑩ 圧接完了後の試験

・ 超音波探傷試験 ・ 引張試験（5.4.9）

千 葉 県 袖 ケ 浦 市 坂 戸 市 場 1－1

袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課

承 認

設 計

担 当

縮 尺

設計年月日

工事名称

図面名称

笹 原

R8.8

袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）

特記仕様書 1

N o

A-01

[illegible]

目	特	記	事	項	目	特	記	事	項	目	特	記	事	項							
17	2. P C カーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会 J A S S 1 4 による。 コンクリートの種類及び品質 ・ 標仕 1 7 . 3 . 2 による ・ 下表による（ただし、下表以外は 17.3.2i による）			⑬	① 接着剤	(19.2.2) (表19.3.3)	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種 ※ 接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする		⑬	⑪ せっこうボード その他の ボード張り	(19.7.2) (表19.7.1)		20	1. フリーアクセス フロア	(20.2.2)					
カ ー テ ン ウ ォ ー ル 工 事		コンクリートの種類	設計基準強度（F _o ）	所要スランプ（mm）		② ビニル 床シート張り	(19.2.2)									施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地震 時水平方	耐荷重性能	表面仕上げ材
																	・ パネル構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000N ・ 5000N	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット
																	・ パネル構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000N ・ 5000N	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット
																	・ パネル構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000N ・ 5000N	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット

項	目	特	記	事	項	目	特	記	事	項	目	特	記	事	項															
20	ユ ニ ツ ト	11. ブラインド	(20. 2. 12)				ユ ニ ツ ト	27. 視覚障害者用床タイル	(19. 2. 2)				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による														
			形 式	種 類	スラットの材種	スラットの幅（mm）			屋 内	・ 塩化ビニル製	・ 磁器又はせつ器質タイル（・ 300 ・ ）	種類				施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率									
			・ 横形	・ ギヤ式	・ コード式	・ アルミニウム合金			・ 2 5	・ レジンコンクリート製	・ 300	・ 1 種（G）				常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下									
	及 び そ の 他 工 事	12. ロールスクリーン	(20. 2. 13)					及 び そ の 他 工 事	28. 旗竿	(22. 2. 2)					15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。														
			防炎性能 ※ 有り	(20. 2. 14)						屋 外	・ レジンコンクリート	・ 磁器又はせつ器質タイル（・ 300 ・ ）		・ 2 種（G）		加熱	・	・	・	・										
			施工箇所	装 置	備 考					材 質	・ アルミニウム製合金製						・ 3 種1号	熔融	粉体状											
	事	13. カーテン	(20. 2. 14)					事	29. 旗竿受金物	(22. 2. 2)					16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。														
			施 工 箇 所	形 式	装 置	名 称	品 質			材 種	ステンレス製 SUS 3 0 4						・ 行 う	・ 行わない	・ 2 0	・ B 種	・ 植栽範囲		・ 図示							
			片引	引分	電動	ひも手引	引				地上高さ（m）	・ 6	・ 8	・ 1 0		・ 1 2	・ 行 う	・ 行わない	・ 2 0	・ B 種	・ 植栽範囲		・ 図示							
	14. カーテンレール	15. ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20. 2. 14)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。													
			材 種	・ アルミニウム製	・ ステンレス製	(20. 2. 14)					材 質	・ アルミ	・ ステンレス									植 栽 工 事	2. 樹木の植栽 基礎整備	(23. 2. 2～3)（表23. 2. 1～2）						
			形 式	・ 片引き	・ 引分け（・ 暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）						形状・寸法	・ 図示										植 栽 工 事	2. 樹木の植栽 基礎整備	(23. 2. 2～3)（表23. 2. 1～2）						
16. 耐震スリット	17. 止水板	(20. 2. 14)				21	排水工 事	27. 視覚障害者用床タイル	(19. 2. 2)				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能				材 質	・ アルミ	・ ステンレス	16. コンクリート二次製品											・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。							
		・ 垂直方向	・ 完全（金貫通型）スリット	・ 耐火型	・ 有り				耐火性能	・ あり（・ なし													16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
18. 天井点検口	19. 床点検口	(20. 2. 14)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		目 地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）						材 質	・ アルミ	・ ステンレス											植 栽 工 事	2. 樹木の植栽 基礎整備	(23. 2. 2～3)（表23. 2. 1～2）					
		目 地 材	シーリング材（見え掛りのみ）	シーリング材（内外とも）						耐火性能	・ あり（・ なし												16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
20. 鋼製書架及び物品棚	21. かぎ箱	(20. 2. 14)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		種 類	規 格 等	耐火性能	防水性能	材 質			・ アルミ	・ ステンレス	16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。																		
		・ 鋼製書架	J I S S 1 0 3 9 の規格による	・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種						耐火性能	・ あり（・ なし												16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
22. くつふきマット	23. 流し台ユニット	(20. 2. 14)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		種 類	寸 法（L=mm）	適用 内 容	規格・品質等	材 質			・ アルミ	・ ステンレス	16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。																		
		※ 流し台	・ 1200 ・ 1500 ※1050	トラップ付き	※ 優良住宅部品（セクショナルキッチン1型）	耐火性能			・ あり（・ なし														16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
24. 屋内掲示板	25. 洗面カウンター	(20. 2. 14)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		材 種	・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）	・ 人工大理石						材 質	・ アルミ	・ ステンレス											植 栽 工 事	2. 樹木の植栽 基礎整備	(23. 2. 2～3)（表23. 2. 1～2）					
		奥行き（mm）	・ 約450	・ 約600						耐火性能	・ あり（・ なし												16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
26. 防煙垂れ壁	27. 防煙垂れ壁	(20. 2. 14)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		材 質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備 考	材 質			・ アルミ	・ ステンレス	16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。																		
		・ 網入り磨板ガラス	・ 6. 8	・ 500	アルミ製枠付き	耐火性能			・ あり（・ なし														16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
28. 旗竿	29. 旗竿受金物	(20. 2. 13)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		種 類	材 質	高さ（mm）	備 考	材 質			・ アルミ	・ ステンレス	16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。																		
		・ 垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（※認定品）	・ 500 ・ 800	ガイドレール（※固定式（壁埋込型）・可動式（天井収納型）	耐火性能			・ あり（・ なし														16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
30. フェンス	31. 屋外掲示板	(20. 2. 14)					21	排水工 事	(21. 2. 1)（表21. 2. 1）（21. 3. 3）				22	舗 装 工 事	14. 路面標示用塗料	JIS K5665（路面標示用塗料）による				22	舗 装 工 事	15. 熔融スラグ	・ 表層に、熔融スラグ入り再生生材 密粒度（13）を使用する。 ・ 基層に、熔融スラグ入り再生生材 粗粒度（20）を使用する。							
		種 類	材 質	高さ（mm）	備 考	材 質			・ アルミ	・ ステンレス	16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。																		
		・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	・ 500 ・ 800	表面仕上げ ※天井材張り	耐火性能			・ あり（・ なし														16. コンクリート二次製品	・ コンクリート二次製品はエコセメント（JIS R 5214）使用製品とする。						
20	32. 止車止め支柱	33. 収納家具	(20. 2. 14)				20																							

1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2020ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設リサイクルデータ統合システム-CORIS-」により作成し、施工計画に含め各1巻提出する。

また、計画の実現状況(実績)については、「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物報告システム登録証明書」を同システムにより作成し、各1巻提出するとともにこれらの記録を工事完成後5年間保存しておくこと。

なお、受発者は再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。

- 2 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部を提出すること。
- 3 建設廃棄物の処理を委託する場合は、運搬あるいは処理について許可業者と各々建設廃棄物処理契約書を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」、収集運搬・処分許可書の写しを提出すること。
- 4 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調査」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督職員に提出し確認を受けること。
- 5 建設副産物の処理にあたって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、複写式伝票の0票及びE票の写しを提示すること。
- また、電子マニフェスト方式による場合は、建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷し提示すること。
- 2 建設発生土
- 1) 指定(A)(工事間流用)の場合
- 本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間流用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。
- | イ 搬出先(相手先工事名、場所等) | 工事 | 市 | 町 | 地先 |
|-------------------|-----|--------|----|----|
| エ 土質及び処理 | 第 月 | 種建設発生土 | m3 | |
| ウ 搬出時期 | 年 月 | 年 月 | | |
- なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。
- 2) 指定(A)(その他の)場合
- 建設発生土()m3は、地先に搬出するものとする。
- なお、詳細については監督職員の指示によること。
- 3) 指定(B)の場合
- 建設発生土(43.6 m3)は、片道運搬処理 40 kmの(株)大倉(富津市高溝128番地1)に搬出するものとする。

本工事により発生する
路盤廃材(48 t)は、袖ヶ浦市 坂戸市場地先、片道運搬処理 4.8 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) (有)渡辺産業 に運搬し、処理するものとする。

本工事により発生する
アスコン塊()tは、市 地先、片道運搬処理 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

- 2) コンクリート塊()tは 市 地先、片道運搬処理 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

- 3)建設発生木材(m³)は 市 地先、片道運搬処理 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

- 4)建設汚泥(　　t)は　　市　　地先、片道運搬処理　　kmの　　に運搬し、処理するものとする。
(※ 中間処理場・最終処分場)

- 5) 7ス⁺ス含有形成板(m3)は 市 地先、片道運搬処理 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

- 6) がすくず(m3)は 市 地先、片道運搬処理 kmの
(※ 中間処理場、最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

- 7) 廃プラスチック類(m3)は 市 地先、片道運搬処理 kmの に運搬し、処理するものとする。
(※ 中間処理場・最終処分場)

- 8) 混合廃棄物(m3)は 市 地先、片道運搬処理 kmの に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員にと協議するものとする。

1) 指定(A) (工事間利用)の場合
本工事により再生処理した廃土のうち、下記に示す処理土については、工事間活用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。

搬出時期	年 月	種 類	建設発生土	工事	m ³	町地先
土質及び処理量	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月

なお、搬出手続き等は監理職員の指示によること。また、建設汚泥の再生利用に当たっては、平成18年6月12日付国土交通事務次官通知「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」等に基づき、適正に処理すること。

1 利用先の確保
建設発生土情報交換システム(JAGIC)を活用して、建設発生土と同様、積極的に工事間利用により利用先の確保に努める。

- 2 中間処理施設の選定
中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件にあう発生処理土を確保するため、他の残土と混ぜないよういかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて、総合的に判断する必要がある。
- また、リサイクル原則化ルールに基づき、建設副産物情報交換システム(COBRIS:JACISシステム)の登録処理業者を活用して、50km範囲で検索する。

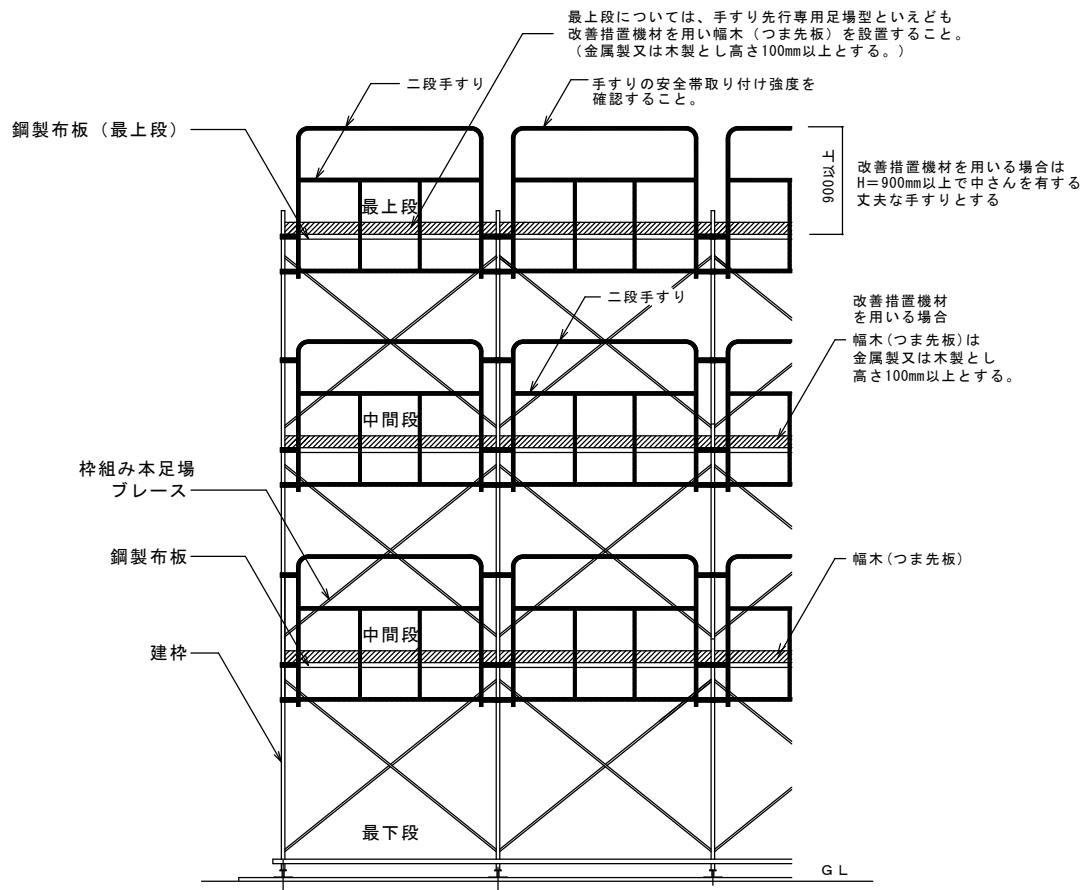
- 3 品質・安全性の確保
処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。

- 4 一時保管
利用先との工程調整のため一時保管する場合には廃棄物処理法等の手続きが必要となるので注意する。

[illegible]

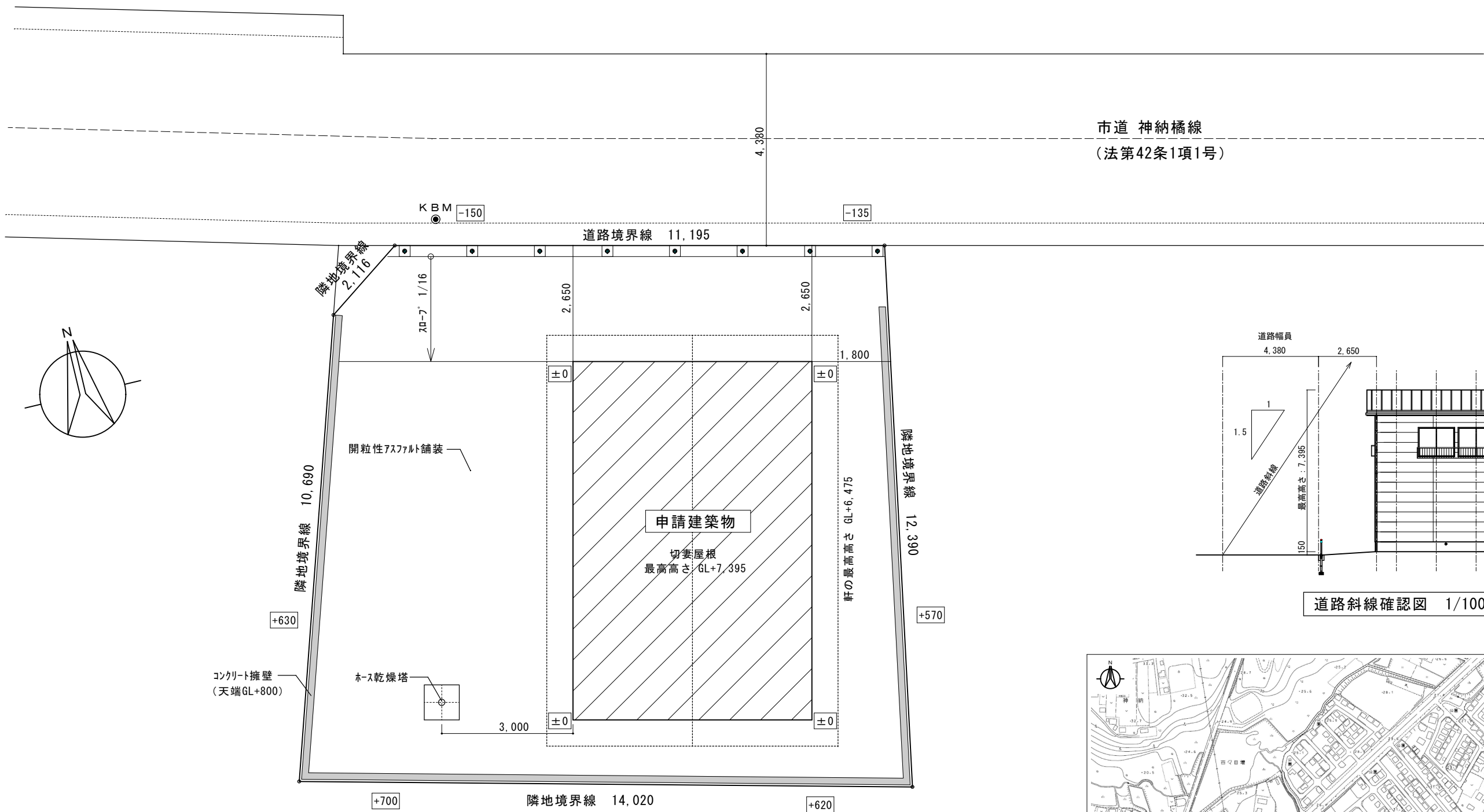
今回対象地区	地 区	市 町 村 名	セ メ ン ト の 種 類	普通ポルトランドセメント			早強ポルトランドセメント		
			打設後28日までの平均気温	16以上	8以上16未満	3以上 8未満	15以上	5以上15未満	2以上 5未満
			補 正 値 (T)	0 (N/mm2)	3 (N/mm2)	6 (N/mm2)	0 (N/mm2)	3 (N/mm2)	6 (N/mm2)
	千 葉 中 央 地 区	千葉市・市原市・四街道市		4/16~10/12	10/13~12/ 1 2/28~ 4/15	12/ 2~ 2/27	4/ 9~10/19	10/20~ 4/ 8	
	千 葉 北 部 地 区	我孫子市・柏市・鎌ヶ谷市・野田市・松戸市・流山市		4/19~10/ 8	10/ 9~11/19 3/ 3~ 4/18	11/20~ 3/ 2	4/11~10/12	10/13~12/15 2/ 4~ 4/10	12/16~ 2/ 3
	千 葉 西 部 地 区	市川市・印西市・浦安市・習志野・八千代市・船橋市・白井市・本荏村		4/21~10/ 4	10/ 5~11/17 3/ 7~ 4/20	11/18~ 3/ 6	4/15~10/ 9	10/10~12/ 9 2/11~ 4/14	12/10~ 2/10
	北 総 地 区	成田・佐倉市・八街市・神崎町・栄町・酒々井町・芝山町・多古町・富里市・印旛村		4/21~10/ 4	10/ 5~11/17 3/ 7~ 4/20	11/18~ 3/ 6	4/14~10/10	10/11~12/ 7 2/11~ 4/13	12/ 8~ 2/10
	東 総 地 区	旭市・香取市・銚子市・東庄町		5/26~10/31	11/ 1~12/31 3/16~ 5/25	1/ 1~ 3/15	5/ 1~10/31	11/ 1~ 4/30	
	九 十 九 里 地 区	東金市・山武市・茂原市・匝瑺市・いすみ市・一宮町・大網白里町・御宿町・九十九里町 白子町・長南町・長柄町・横芝光町・睦沢町・長生村		5/ 1~10/20	10/21~12/10 3/11~ 4/30	12/11~ 3/10	4/21~10/30	11/ 1~ 4/20	
○	君津・木更津地区	木更津市・君津市・袖ヶ浦市・富津市		4/16~10/12	10/13~12/ 1 2/28~ 4/15	12/ 2~ 2/27	4/ 9~10/19	10/20~ 4/ 8	
	館 山 地 区	館山市・館南町・南房総市		4/15~10/14	10/15~12/ 8 2/21~ 4/14	12/ 9~ 2/20	4/ 8~10/21	10/22~4/ 7	
	勝浦・鴨川地区	勝浦市・鴨川市・大多喜町		5/ 1~10/31	11/ 1~12/20 3/ 1~4/30	12/21~ 2/28			

セメントの種別 ※ 普通ポルトランドセメント ・ 早強ポルトランドセメント



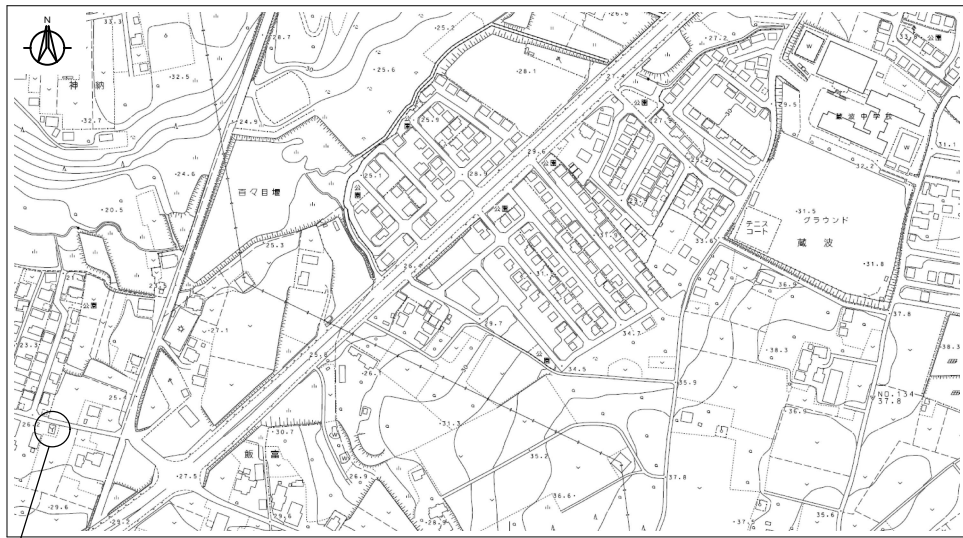
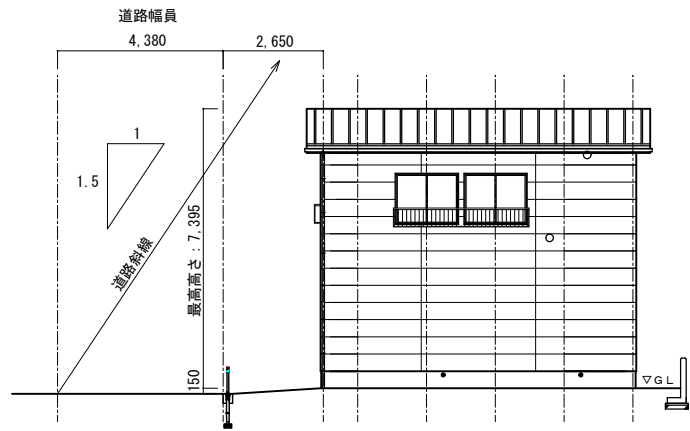
「働き安い安心感のある足場」手すり先行専用足場型概念図（参考）

- ①足場の組み立て解体作業は、二段手すりが先行して取り付けられている状態で行うこと。
- ②足場の使用時には、最下段を除く全段に二段手すり及び幅木（つま先板）を設置すること。
- ③上回手すり先行専用足場型によらず、改善措置機材を用いる場合には、
「手すり先行工法に関するガイドライン」に規定された機材を使用し、手すり先行専用足場型と同等の機能を確保した足場とする。

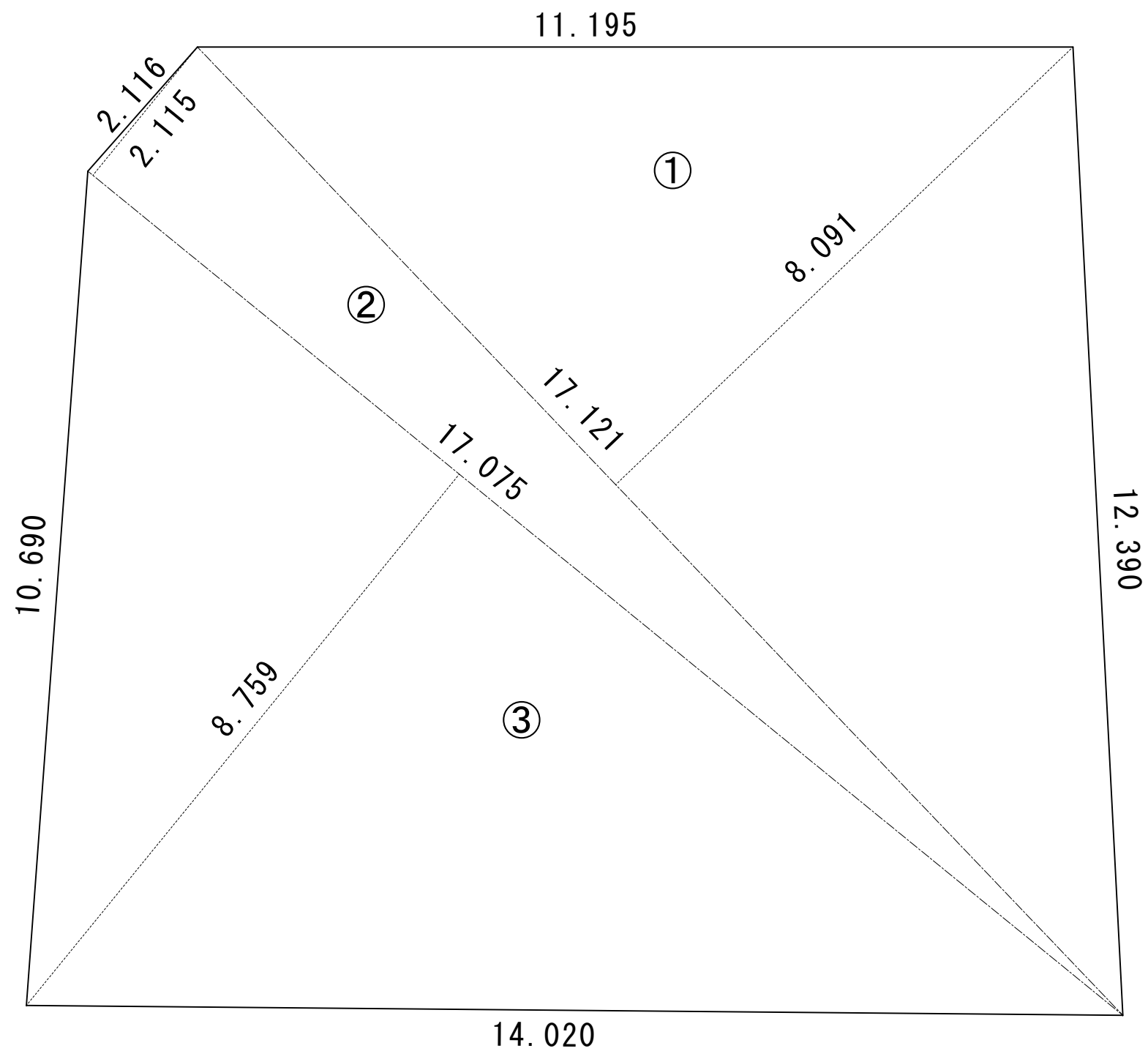


※KBM+150を設計GL±0
※隣地斜線については建物高さが20m以下の為支障なし
※北側斜線・高さ制限：市街化調整区域 規制対象外

市道 神納橋線
(法第42条1項1号)



	千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1-1 袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課	承認	設計	担当 笹原		縮尺 A1 : 1/50	工事名称 袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）	No. A-07
						設計年月日 R8.8		
						図面名称 配置図・案内図		



求積図 1/50

地番 神納字前萩原2420番3				
符 号	底 辺	高 さ	倍面積	
①	17.121	× 8.091	138.526011	
②	17.075	× 2.115	36.113625	
③	17.075	× 8.759	149.559925	
倍 面 積 合 計			324.199561	
× 1 / 2			162.0997805	
			162.09 m ²	

外 部 仕 上 表

屋 根	ガルバリウム鋼板（ｶﾗｰ） t=0.4mm 瓦棒葺 ※不燃材認定NM-8 6 9 7 同等
軒 天	ケイ酸カルシウム板 t=6mm E P ※不燃材認定NM-1 2 1 7 同等
外 壁	窯業系サイディング t=16mm 塗装品 ※防火構造認定 P C-0 3 0 B E-9 2 0 1 同等
根 廻 リ	コンクリート打放
開 口 部	木造用規格アルミサッシ オーバースライダー
樋	軒樋：塩ビ角形 W120(既製品) 縦樋：カラーV P φ=60
庇	軽量アルミ形材製 W=1000 D=600×1箇所

凡 例

P B	： プラスターボード
C L	： クリアラッカー
S O P	： 合成樹脂調合ペイント
E P	： 合成樹脂エマルションペイント

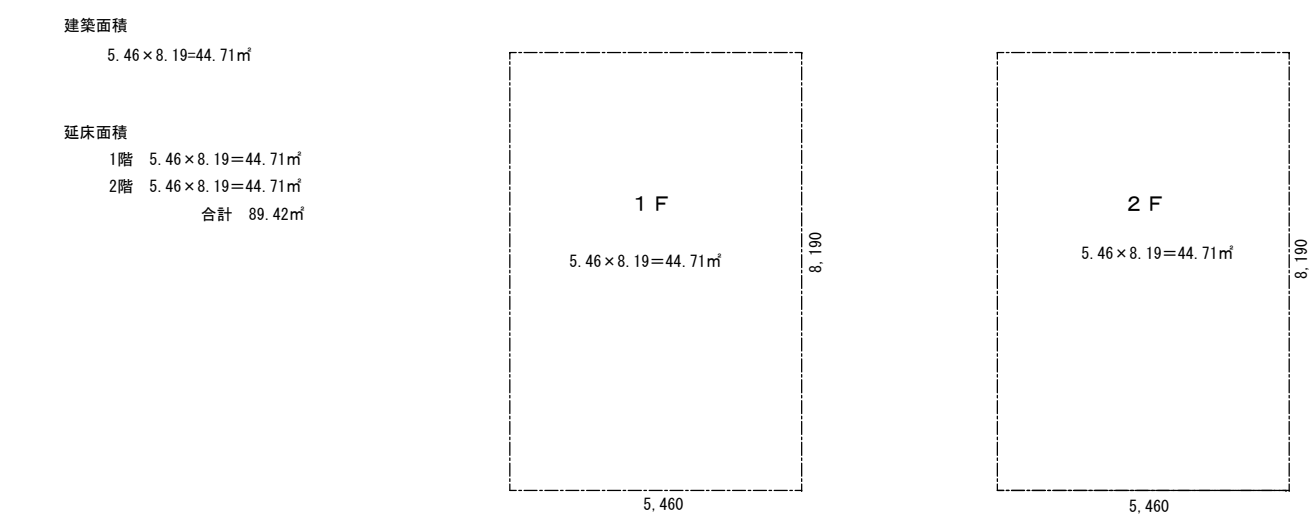
特 記 事 項

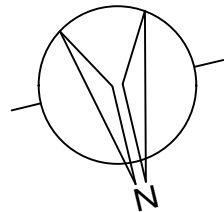
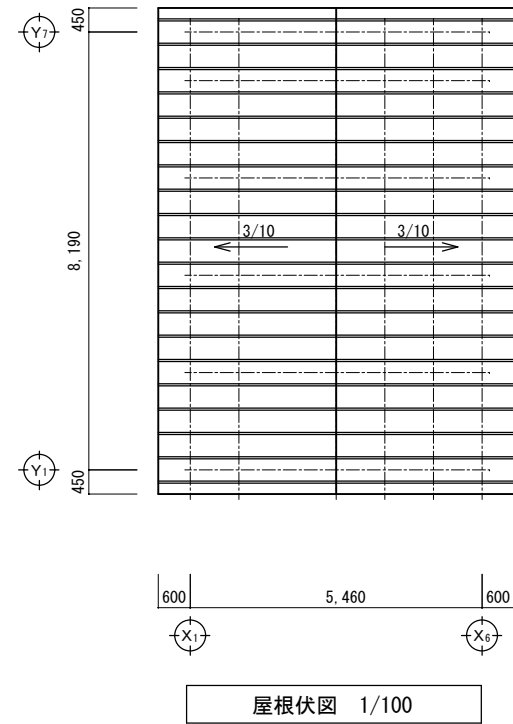
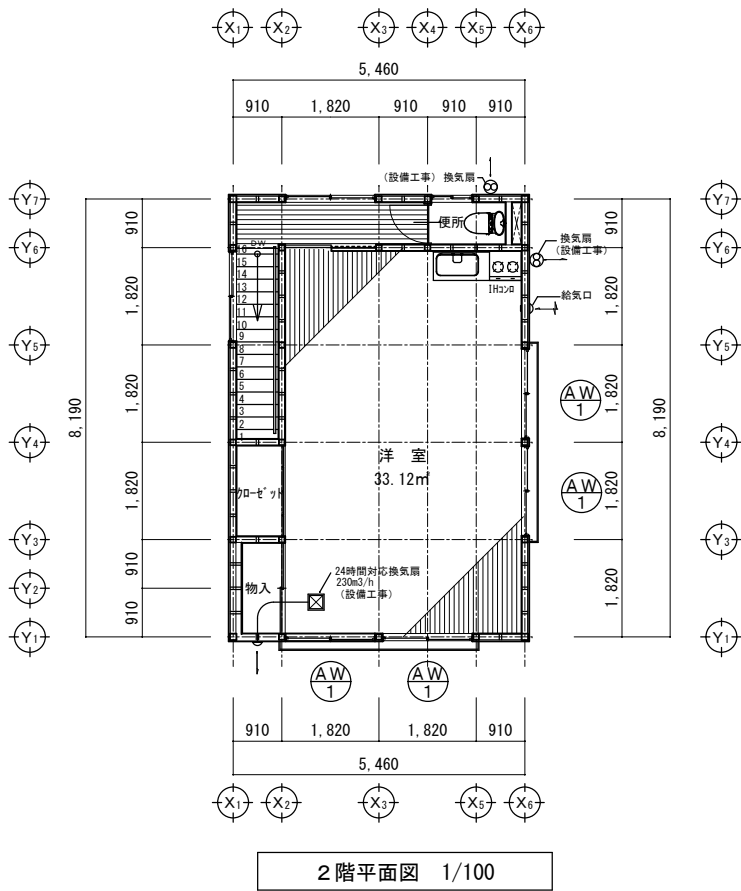
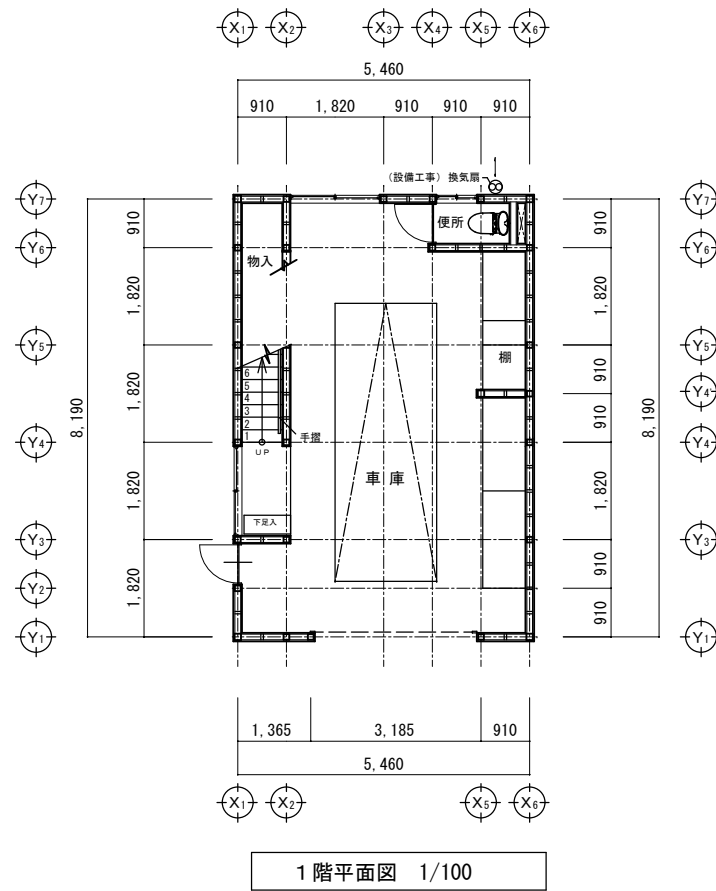
※クロルビリホス・石綿を含む建築材料は使用しない。
※クロス及びビニル床シート接着剤はF☆☆☆☆を使用する。
※天井裏等に使用する建材は全てF☆☆☆☆等級以上を使用する。
※内装建具に使用する建材は全てF☆☆☆☆等級以上を使用する。
※塗装に使用する材料は全てF☆☆☆☆等級以上を使用する。

内 部 仕 上 表

階	室 名	床		巾 木	壁		天 井				備 考
			等級			等級		等級	廻り縁	天井高	
1	車 庫	コンクリート 金ゴテ	規制対象外	基礎立上り あらわし	P B t=12.5mm(強化) ※不燃認定NM-8 6 1 5 同等 の上 E P-G ※準不燃認定QM-9 8 1 6 同等	F☆☆☆☆	化粧石膏ボード t=9.5mm ※準不燃認定QM-0 5 2 4 同等	F☆☆☆☆	塩ビ製	2950	・自然給気口：アルミ製丸型ガラリ防虫ネット付 φ=100 ・自然排気口：アルミ製丸型ガラリ防虫ネット付 φ=150 ・下足入 ・杉製棚S O P
	物 入	同 上	規制対象外	同 上	同 上	F☆☆☆☆	同 上	F☆☆☆☆	塩ビ製		
	便 所	同 上	規制対象外	同 上	同 上	F☆☆☆☆	同 上	F☆☆☆☆	塩ビ製	2950	
2	洋 室	複合フローリング t=12mm	F☆☆☆☆	MDF H=60	P B t=12.5mm ※不燃認定NM-8 6 1 9 同等 の上ビニールクロス 流し廻りキッチンパネル	F☆☆☆☆	P B t=12.5mm ※不燃認定NM-8 6 1 9 同等 の上ビニールクロス	F☆☆☆☆	MDF 30×9	2400	・流し台 W1,050 D600 H840 ・コンロ台 W600 D600 H500 ・吊戸棚 W1,050 D350 H600 ・置式I Hコンロ(設備工事) ・レンジフード H600(設備工事)
	便 所	発泡複層ビニール床シート t=2.8mm	F☆☆☆☆	ビニール巾木 H=60	P B t=12.5mmの上 ビニールクロス	F☆☆☆☆	化粧石膏ボード t=9.5mm	F☆☆☆☆	塩ビ製	2400	
	廊 下	複合フローリング t=12mm	F☆☆☆☆	MDF H=60	同 上	F☆☆☆☆	同 上	F☆☆☆☆	塩ビ製	2400	
	物入・クローゼット	複合フローリング t=12mm	F☆☆☆☆	MDF H=60	同 上	F☆☆☆☆	ラワン合板 2類 t=5.5mm	F☆☆☆☆	MDF 30×9	2400	
共通	階 段 室	集成材 t=30mm	F☆☆☆☆	ササラ	P B t=12.5mmの上 ビニールクロス（準不燃以上）	F☆☆☆☆	化粧石膏ボード t=9.5mm（準不燃以上）	F☆☆☆☆	塩ビ製		・手摺：タモ集成材φ=35 U C

求積図 1/100





建築基準法による開口部算定						
階	室名	床面積 A		必要開口面積	有効開口面積	判定
2階	洋室	33.12㎡	採光	A/20 =1.656 < 1.65×1.3=2.145 2.145×3(補正係数)=6.435	=6.43 (1/AW)	○K
			換気	A/20 =1.656 < (0.79×1.3)×4ヵ所=4.108	=4.10 (1/AW)	○K
			排煙	A/50 =0.6624 < (0.79×0.390)×4ヵ所=1.2324	=1.23 (1/AW)	○K

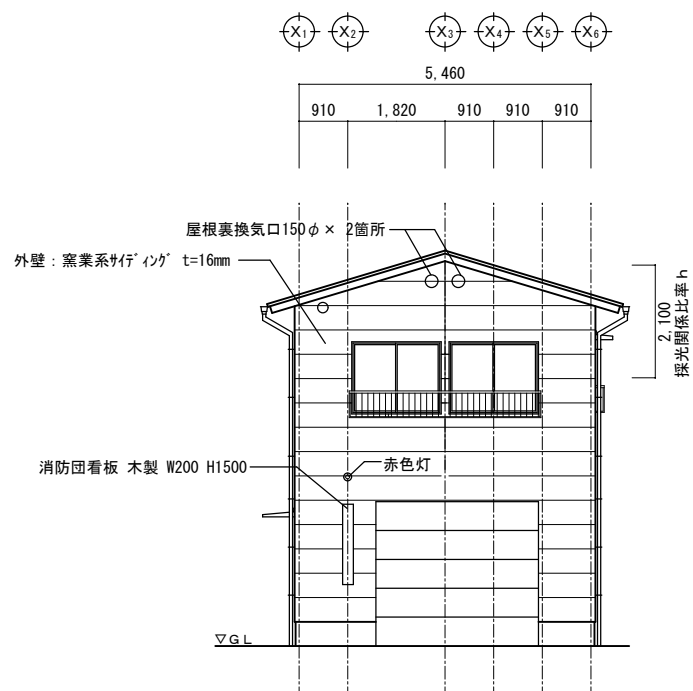
採光補正係数(K)=D/H×10-1
洋室→K=7.03/2.10×10-1
K=32.47 採光補正係数=3

換気計算表										
室名	室面積 ㎡	天井高 m	室容積 m3	必要換気量 回/h	必要換気量 m3/h	機器数	有効換気量 m3/h	判定	機器記号	換気方式
洋室	33.12	2.4	79.488	0.3	79.488×0.3=23.8464	1	230	○K	EF-2	第3種換気

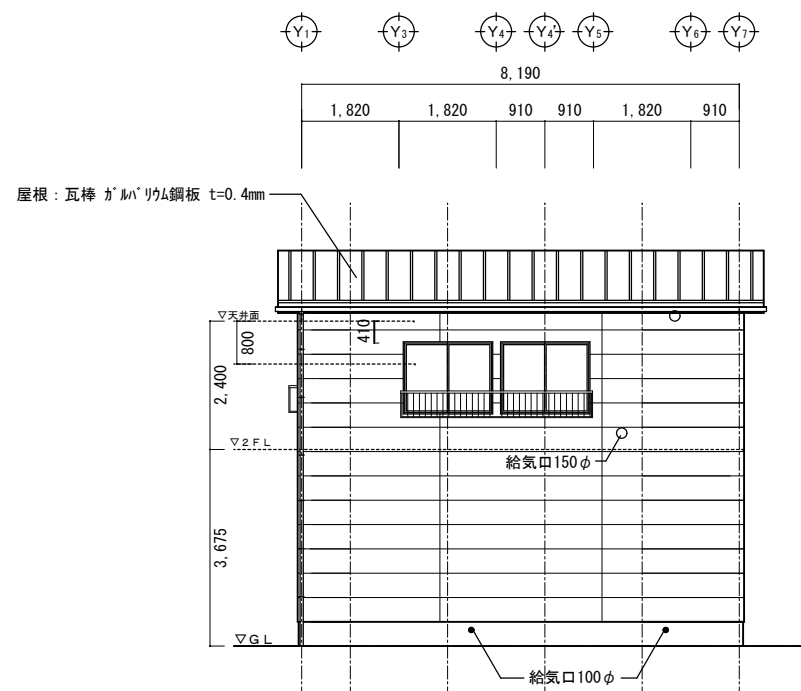
三菱
VD-20ZVX7-C

消防法による開口部算定				
階	階床面積 A	必要開口面積	消防法による有効開口面積	判定
1	5.46m×8.19m=44.7174㎡	A/30 =1.49058	3.185×2.7=8.5995(1/AS)(軽量シャッター) 1.65×1.3=2.145(3/AW) 8.5995+2.145=10.7445	有窓階
2	5.46m×8.19m=44.7174㎡	A/30 =1.49058	0.79×1.3=1.027(1/AW) 1.027×4ヵ所=4.108	有窓階

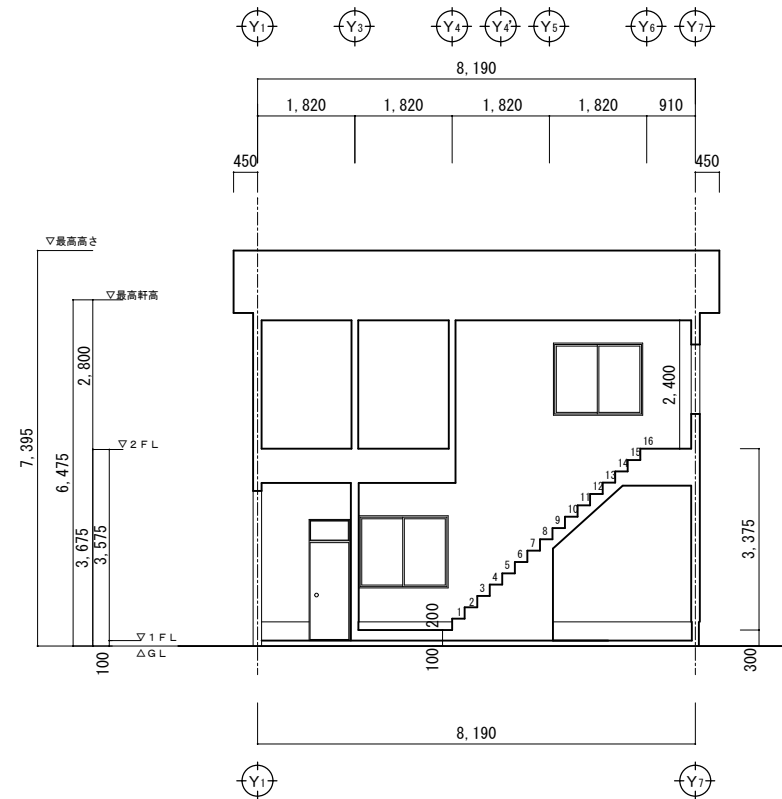
<消防法による有効である窓>
直径50cm以上の円が内接する開口部 床面から開口部下端までの高さ1,200以内、w≧75 h≧1,200 2ヶ所以上(硝子網入・強化t=6の場合 1/2)
※歩行距離10m以下(避難階以外)のため誘導標識設置なし
※収容人数 従業者13人+11.04人=24.04人 収容人数25人



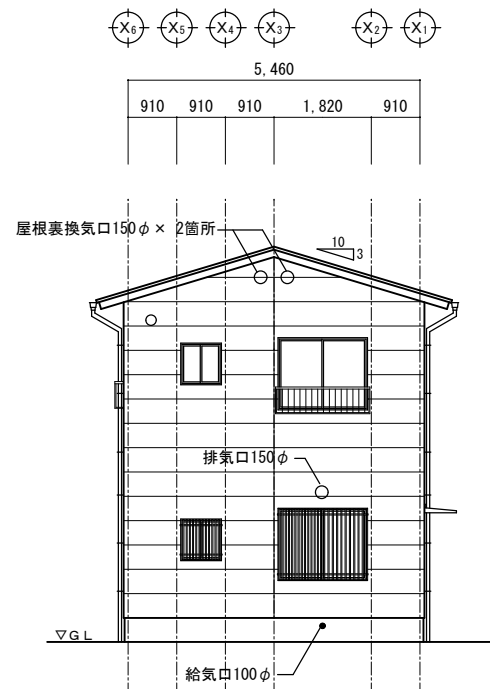
北側立面図 1/100



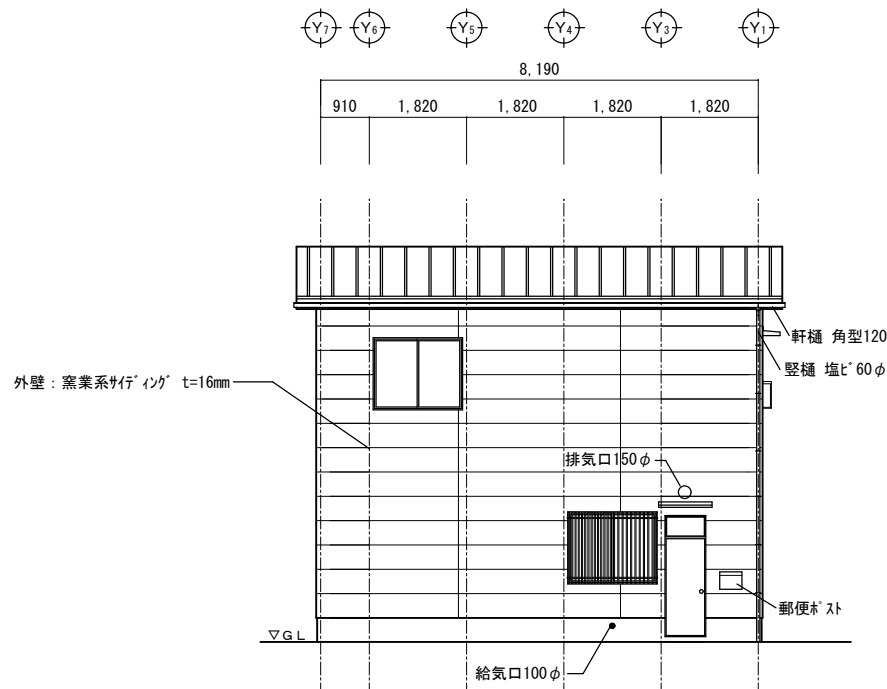
西側立面図 1/100



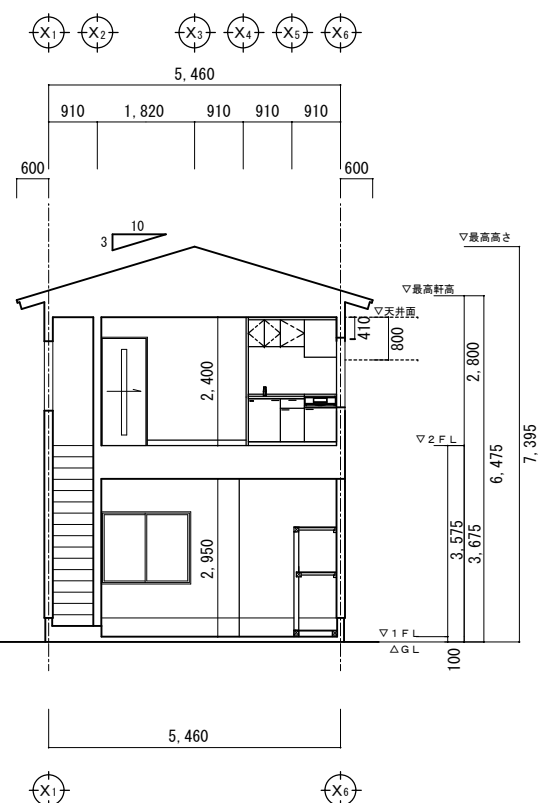
断面図 (1) 1/100



南側立面図 1/100



東側立面図 1/100



断面図 (2) 1/100

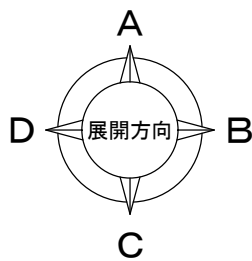
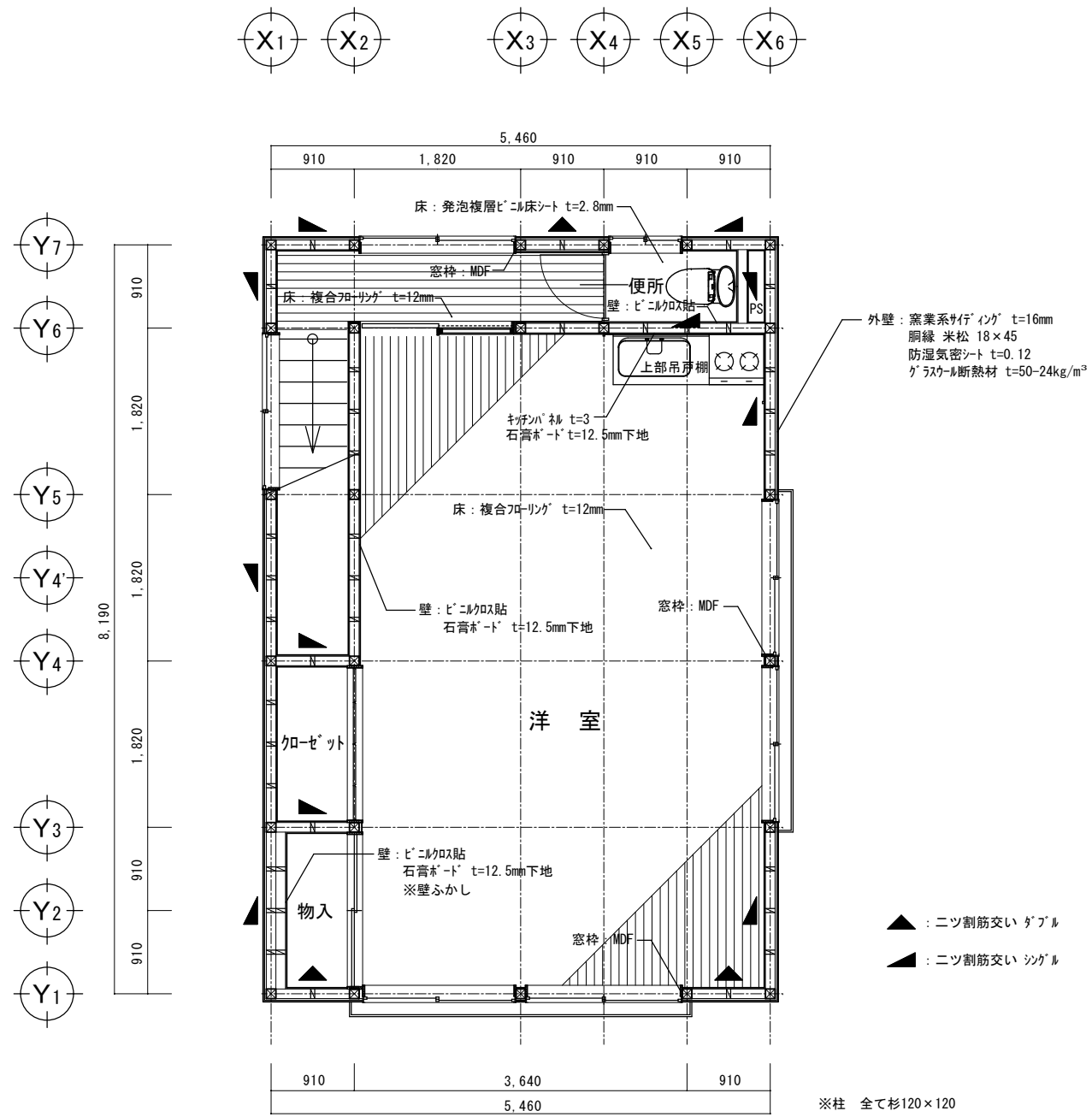
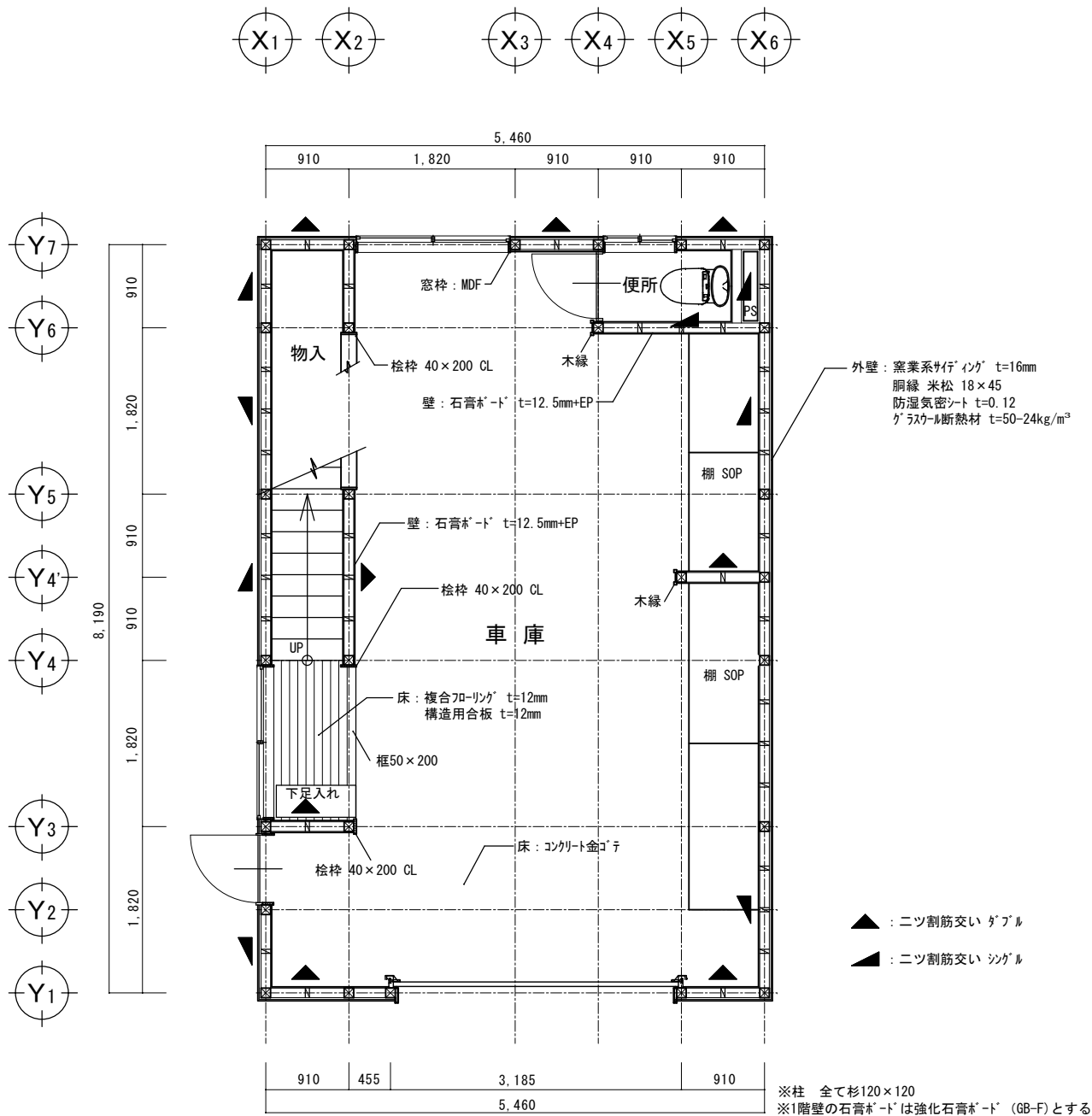
千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1-1
袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課

承認 設計 担当
笹原

縮尺
A2 : 1/100
設計年月日
R8.8

工事名称 袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事 (建築工事)
図面名称 立面図・断面図

№ A-11



1階平面図 1/50

2階平面図 1/50

下足入 (ロングシューズ用3列×5段) 1725×758×330 杉田エーBS-LL15H3同等品

千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1-1

袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課

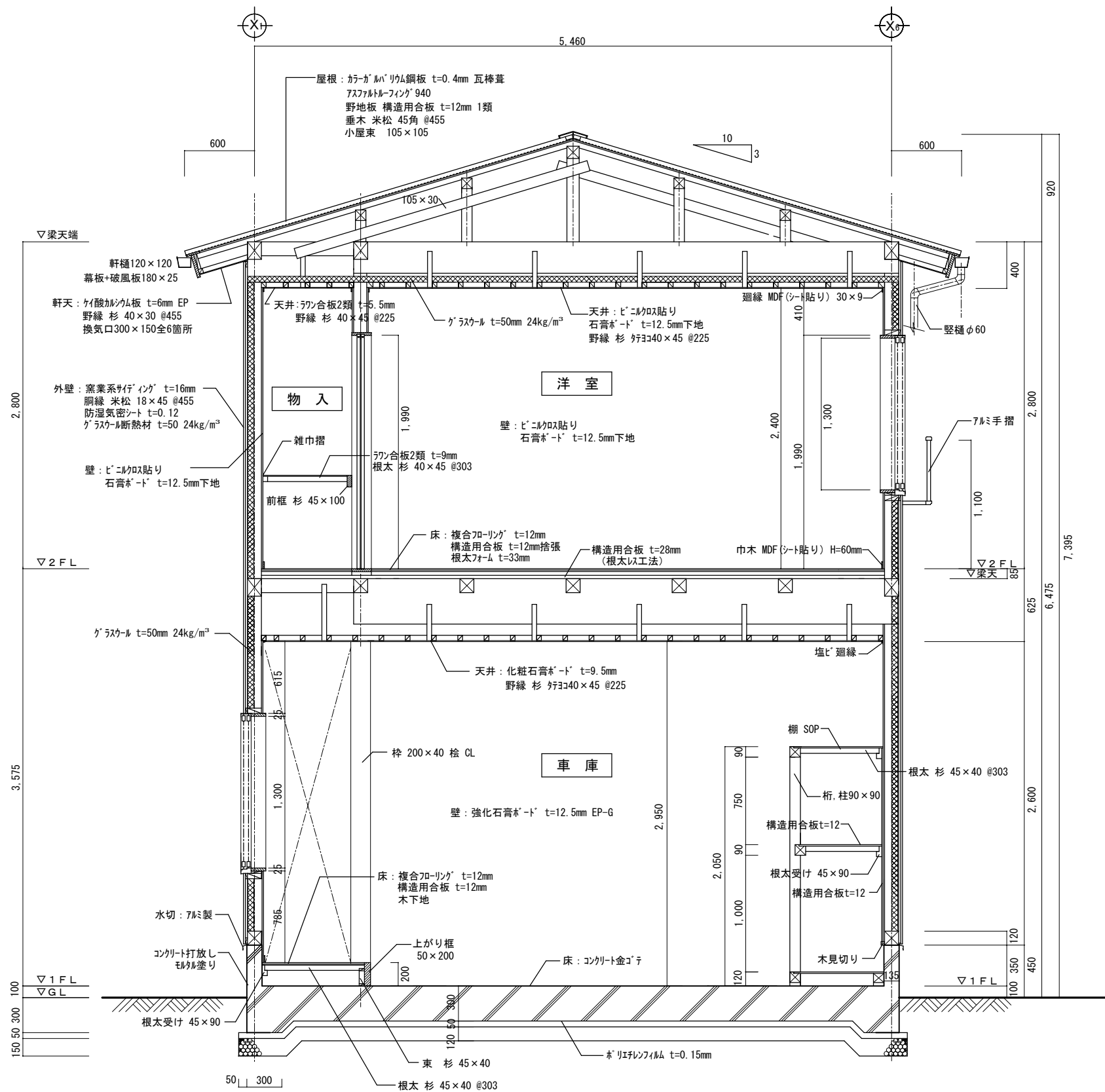
承認 設計 担当
笹原

縮尺
A2 : 1/50
設計年月日
R8.8

工事名称 袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事 (建築工事)

図面名称 平面詳細図

№ A-12

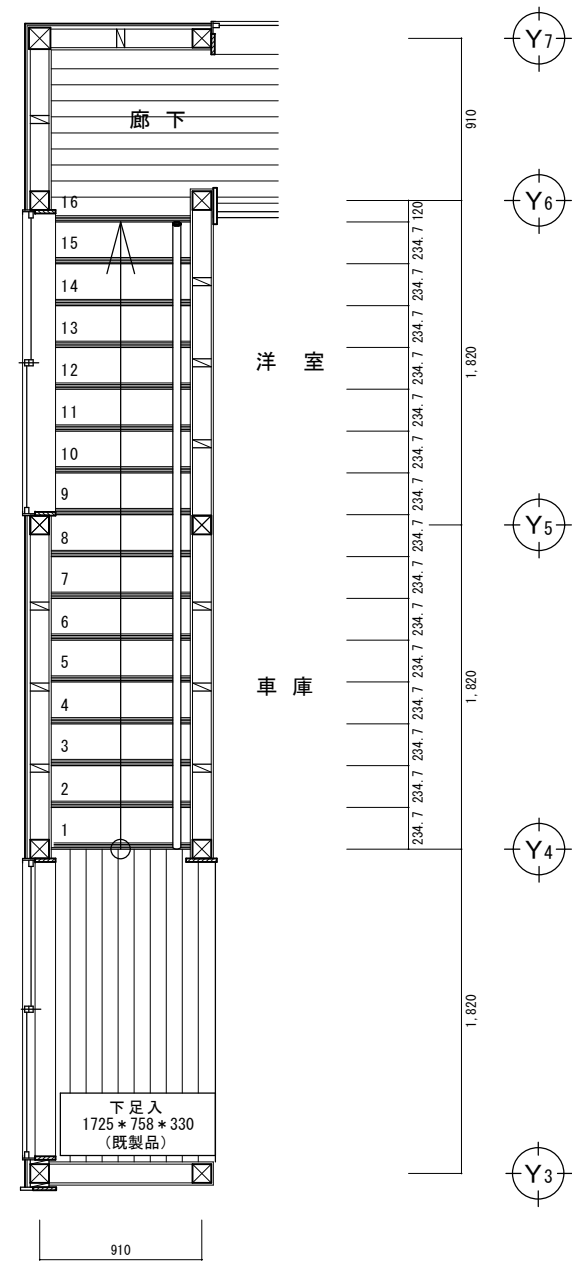
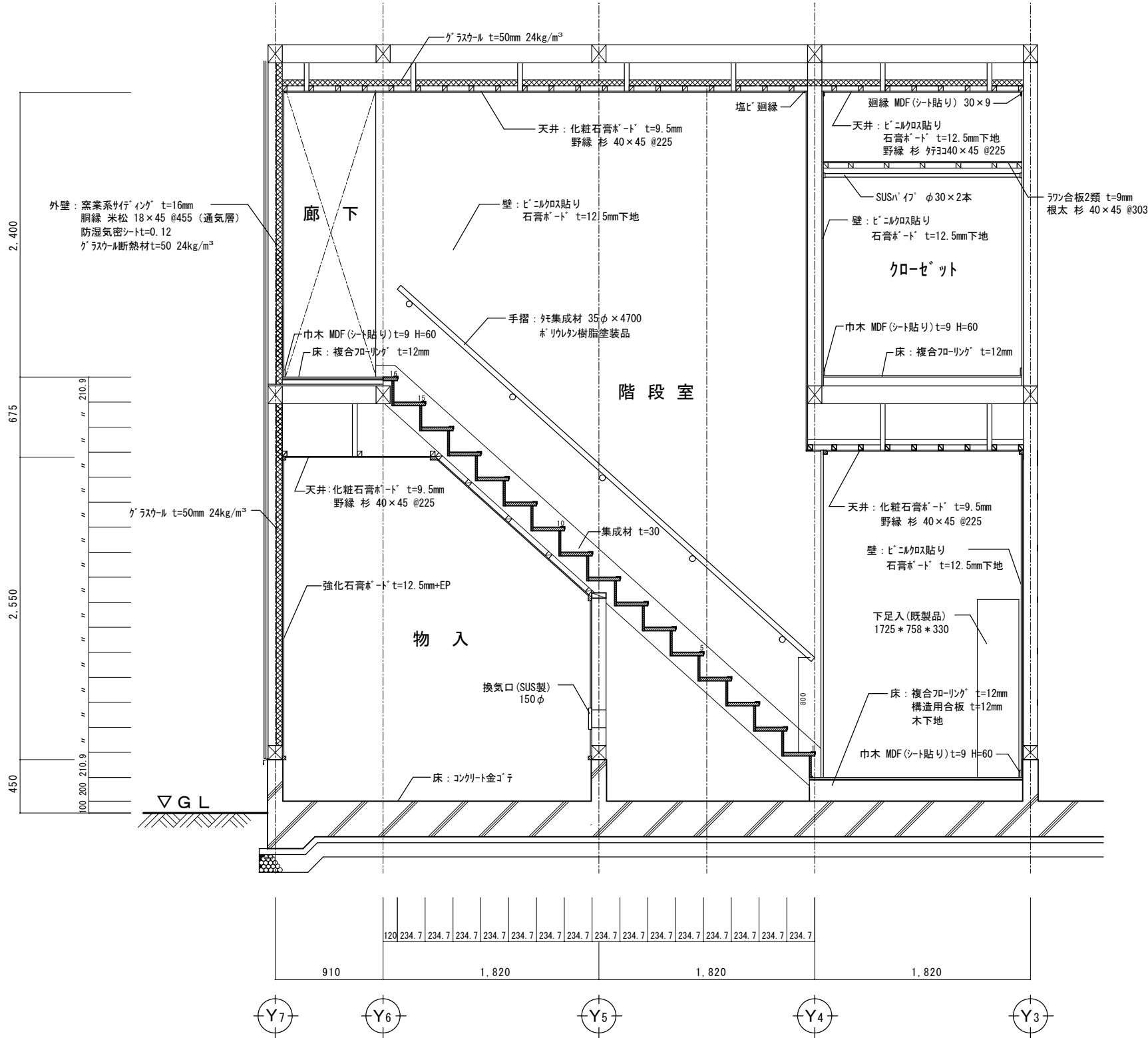


矩計図 1/30

千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1-1
袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課

承認	設計	担当	縮尺
		笹原	A2:1/30
			設計年月日 R8.8

工事名称	袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）
図面名称	矩計図



階段詳細図 1/30

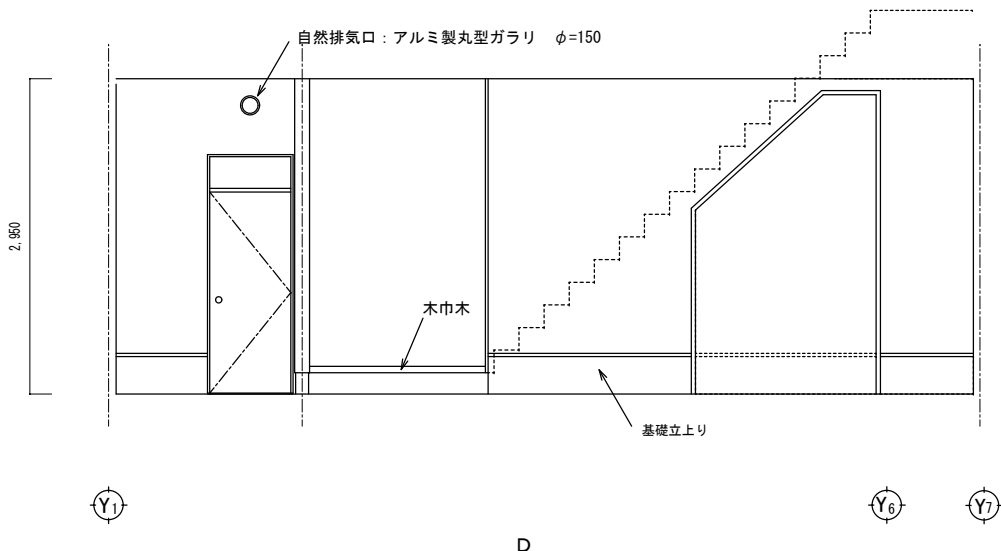
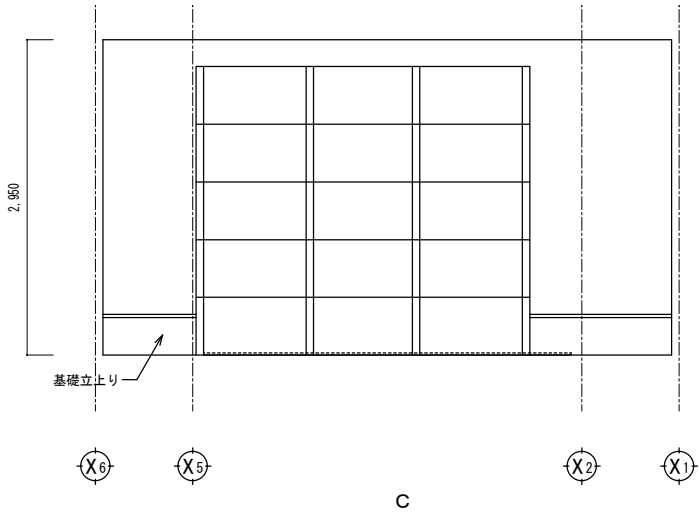
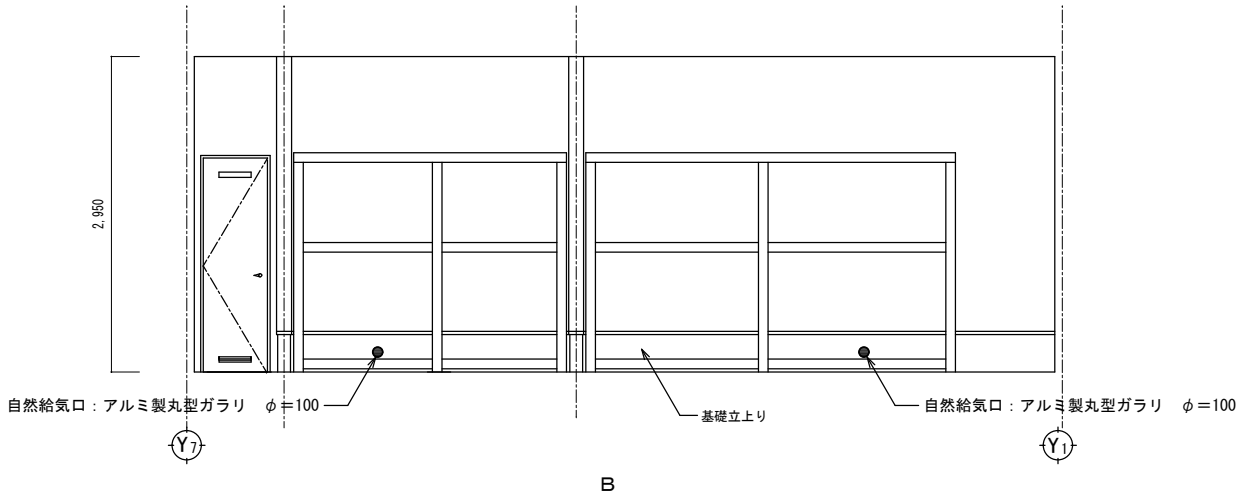
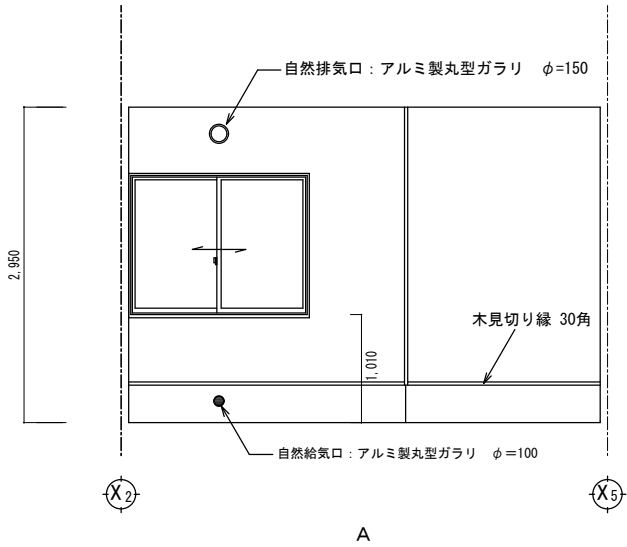
千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1-1
袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課

承認 設計 担当
笹原

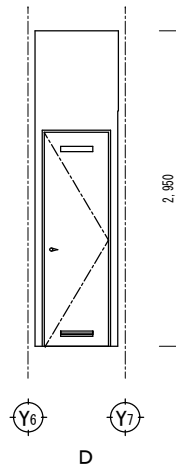
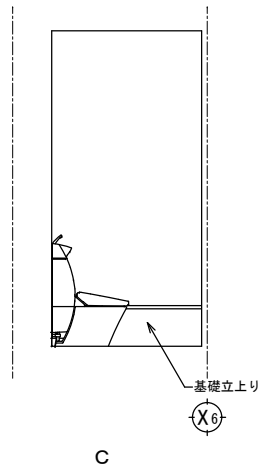
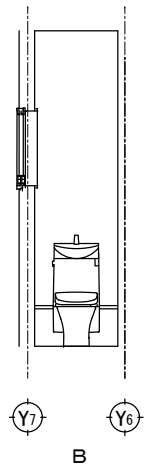
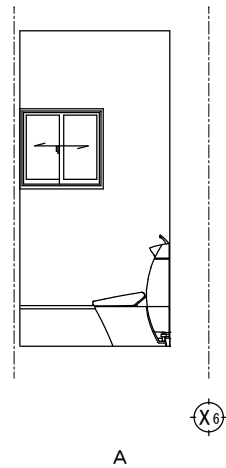
縮尺
A2: 1/30
設計年月日
R8. 8

工事名称 袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）
図面名称 階段詳細図

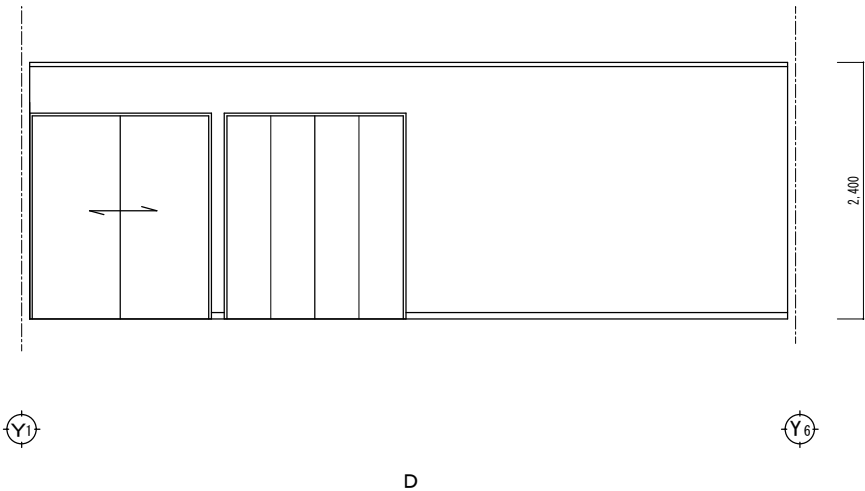
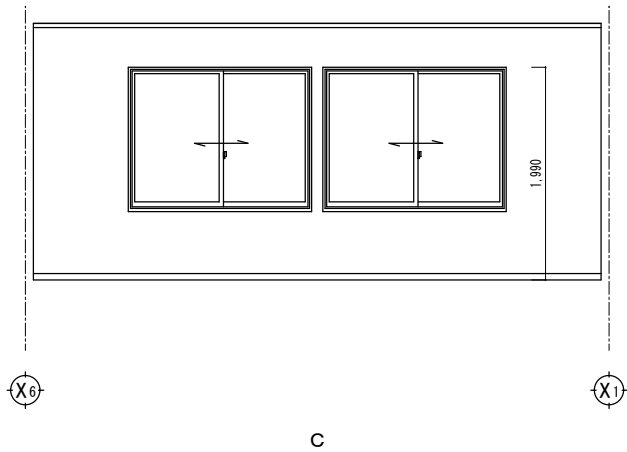
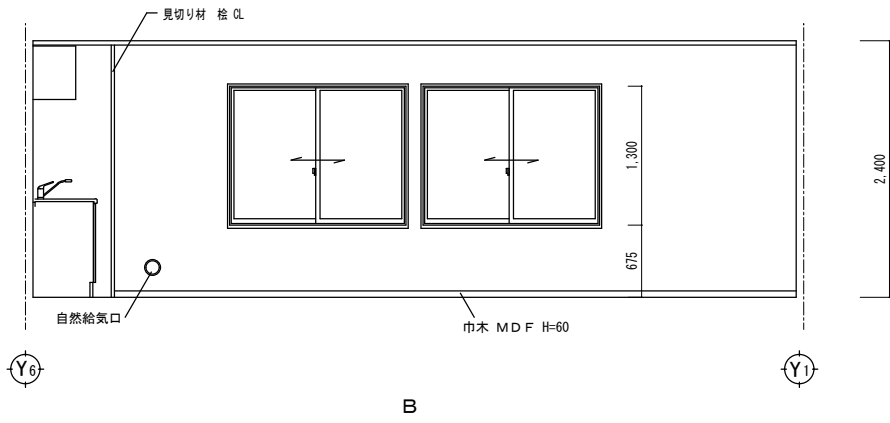
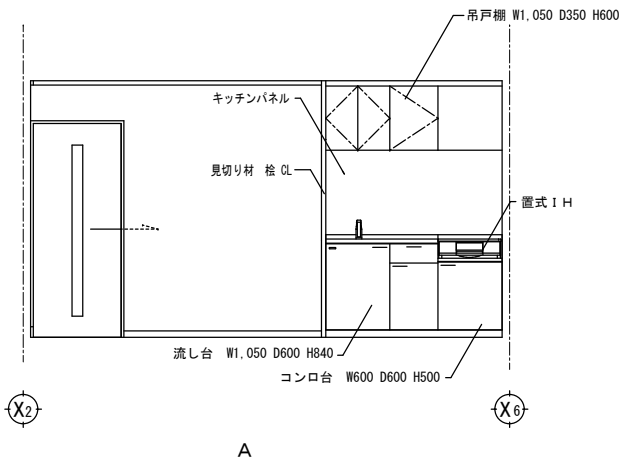
車 庫	
床	コンクリート 金ゴテ
巾 木	
壁	PB t=12.5mm（強化）E P-G
天 井	化粧石膏ボード t=9.5mm
備 考	自然給気口：アルミ製丸型ガラリ φ=100 防虫ネット付 ×3箇所 自然排気口：アルミ製丸型ガラリ φ=150 防虫ネット付 ×2箇所 棚：杉製S O P 下足入：スチール既成品(15人用) 3列×5段 廻り縁：塩ビ製



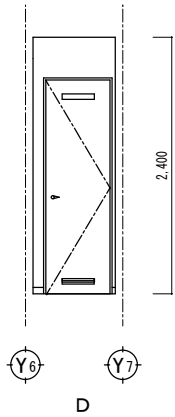
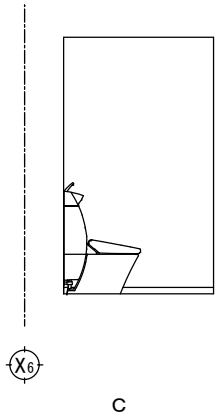
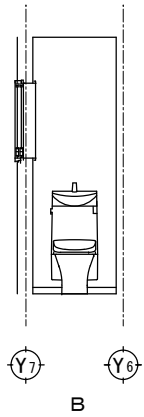
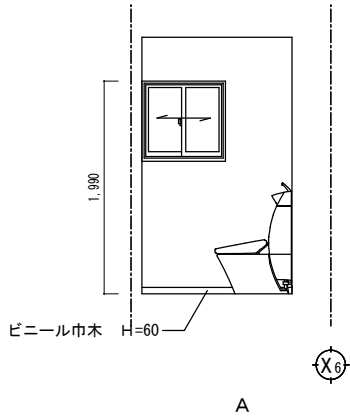
1 階 便 所	
床	コンクリート 金ゴテ
巾 木	
壁	PB t=12.5mm（強化）E P-G
天 井	化粧石膏ボード t=9.5mm
備 考	廻り縁：塩ビ製

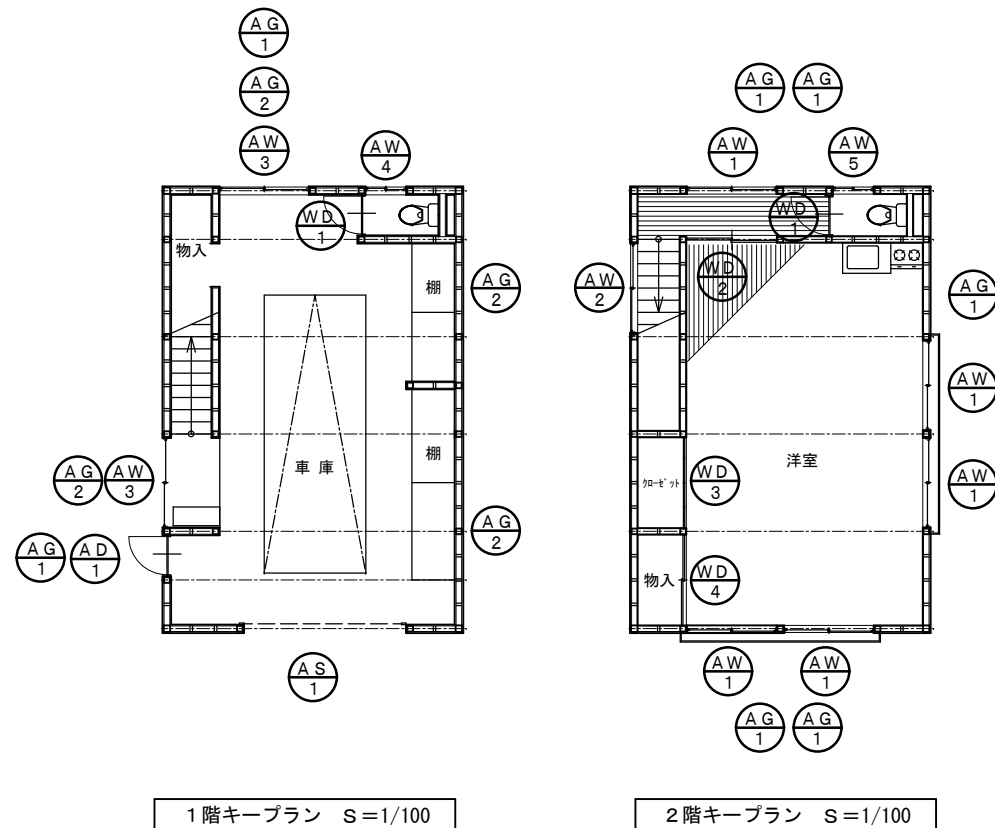


洋 室	
床	複合フローリング t=12mm
巾 木	MDF H=60
壁	P B t=12.5の上 ビニールクロス 一部キッチンパネル
天 井	石膏ボード t=12.5mmの上 ビニールクロス
備 考	廻り縁 : MDF 自然給気口 : アルミ製丸型ガラリ φ=150 防虫ネット付 流し台 : W1,050 D600 H840 コンロ台 : W600 D600 H500 吊戸棚 : W1,050 D350 H600 コンロ : 置式 I H (設備工事) レンジフード D600 (設備工事)



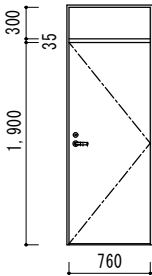
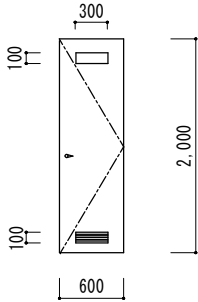
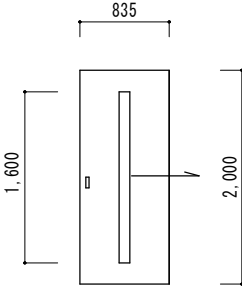
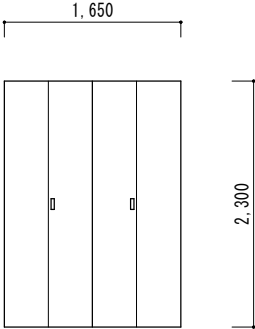
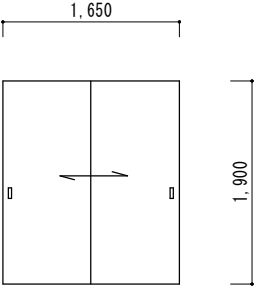
2 階 便 所	
床	発泡複層ビニール床シート t=2.8mm
巾 木	ビニール巾木 H=60
壁	P B t=12.5mmの上 ビニールクロス
天 井	化粧石膏ボード t=9.5mm
備 考	廻り縁 : 塩ビ製



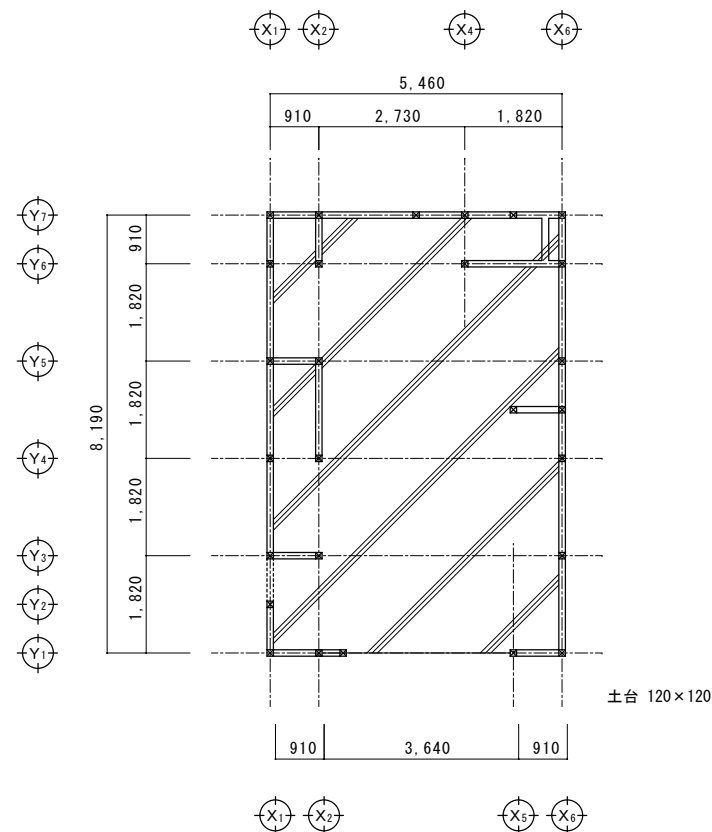


符号・数量	AS 1	× 1	AW 1	× 5
姿 図				
取付 箇所	車 庫		洋 室・廊 下	
形 式	オーバースライダー（バランス式・ローヘッド型）		引き違い窓	
材料 仕上	アルミ製焼付塗装		アルミ	
硝 子			強化ガラス（型）t= 4 mm	
付属 金物	メーカー標準仕様品一式		附属金物一式	
備 考			網戸 手すり 建具枠：MDF（メーカー規格品）	

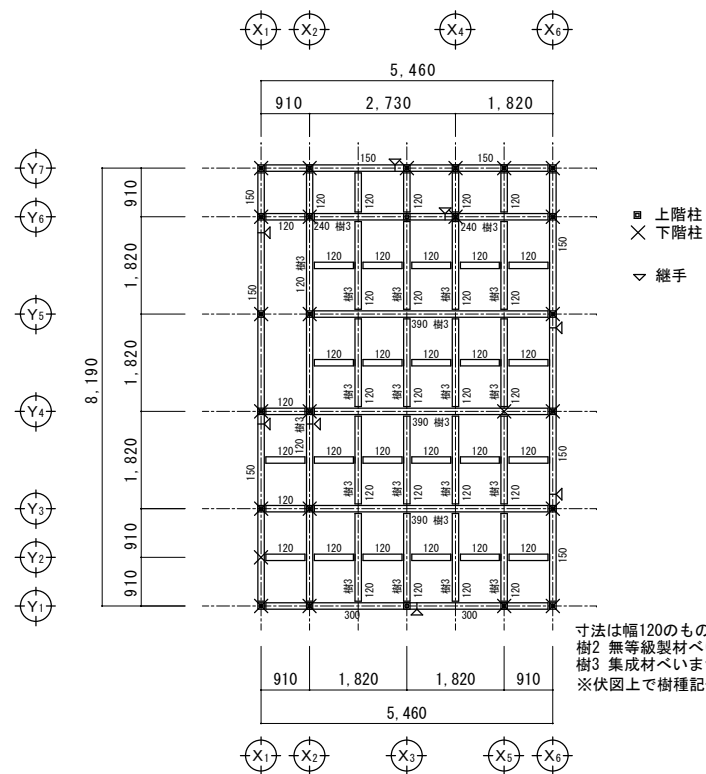
符号・数量	AW 2	AW 3	AW 4	AW 5	
姿 図					
取付 箇所	階段室	車 庫	1階 手洗い	2階 便 所	
形 式	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓	
材料 仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	
硝 子	強化ガラス（型）t=4 mm	強化ガラス（型）t=4 mm	強化ガラス（型）t=4 mm	強化ガラス（型）t=4 mm	
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	
備 考	網戸 建具枠：MDF（メーカー規格品）	7&ミ面格子 建具枠：MDF（メーカー規格品）	7&ミ面格子 建具枠：MDF（メーカー規格品）	網戸 建具枠：MDF（メーカー規格品）	

符号・数量	AD1 × 1	WD1 × 2	WD2 × 1	WD3 × 1	WD4 × 1
姿 図					
取付 箇所	車 庫	便 所	洋 室	クローゼット	物 入
形 式	ランマ付片開き フラッシュドア	片開き	片引き戸 アウトセット	2枚折れ戸	引き違い戸
材料 仕上	カラー鋼板	化粧シート貼り	化粧シート貼り	化粧シート貼り	化粧シート貼り
見 込	4 0	3 6	3 6	3 6	3 6
沓摺及膳板	ステンレス				
硝 子	強化ガラス（型）t=4 mm	強化ガラス（型）t=4 mm	強化ガラス（型）t=4 mm		
金 物	丁番	丁番	レール	レール	レール
備 考	レバーハンドル シリンダー錠 ドアチェック メーカー規格品	ガラリ 表示錠 戸当り メーカー規格品（建具枠共）	引き戸錠 メーカー規格品（建具枠共）	メーカー規格品（建具枠共）	メーカー規格品（建具枠共）

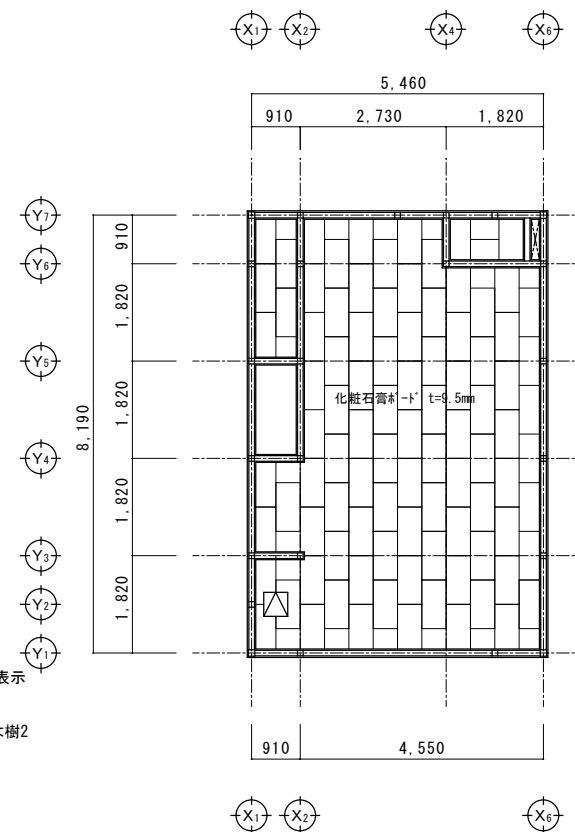
符号・数量	AG1 × 7	AG2 × 4	
姿 図			
取付 箇所	切妻面外壁、車庫	車 庫	
形 式	耐雨型フード付ガラリ φ=150	ガラリ φ=150	
材料 仕上	アルミ	アルミ	
見 込			
沓摺及膳板			
硝 子			
金 物	附属金物一式	同 左	
備 考	防虫ネット	防虫ネット	



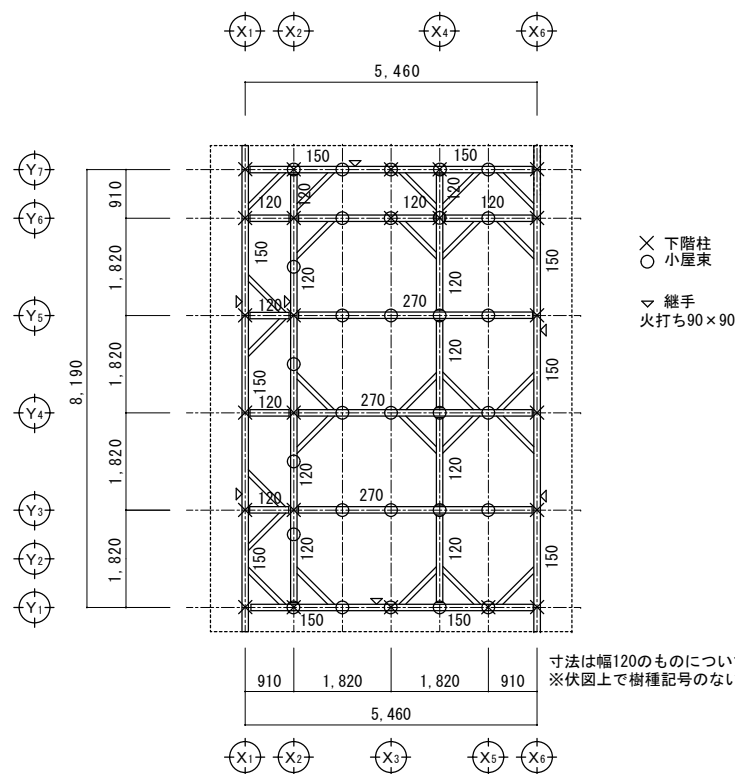
1階床伏図



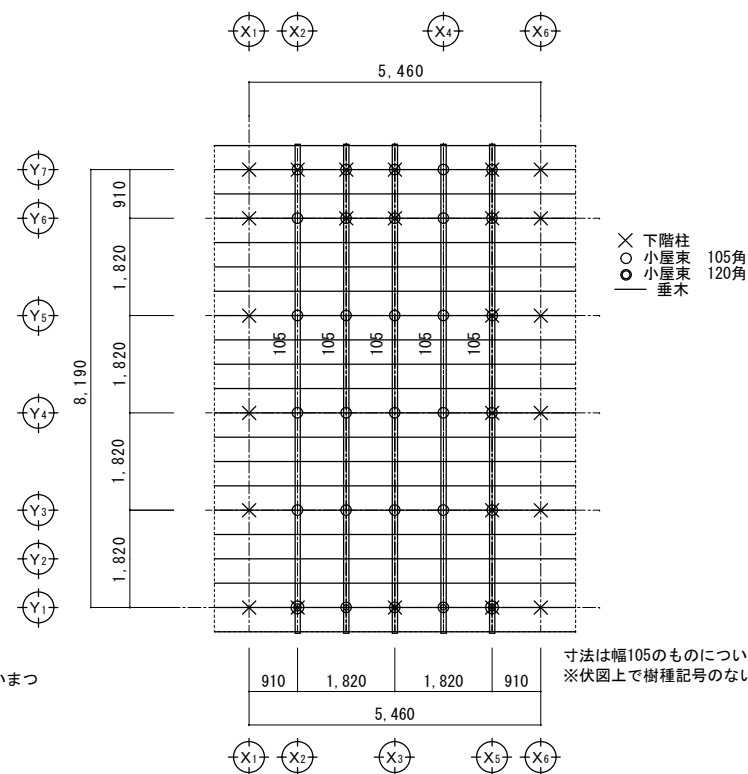
2階床伏図



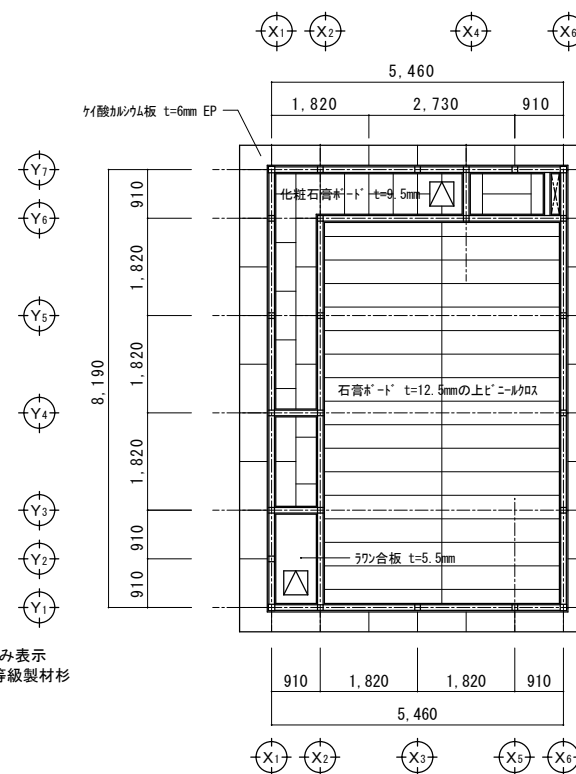
1階天井伏図



2階小屋伏図



母屋伏図



2階天井伏図

※柱は全て120×120

千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1-1

袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課

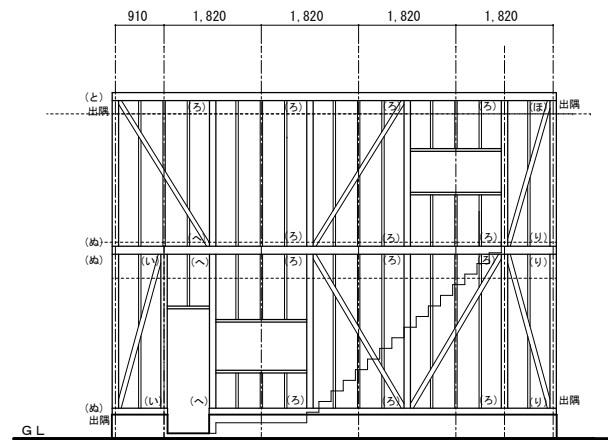
承認 設計 担当
笹原

縮尺
A2 : 1/100
設計年月日
R8.8

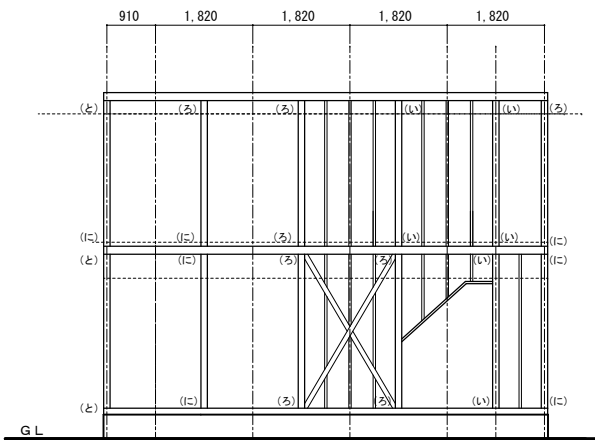
工事名称 袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）

図面名称 床伏図・小屋伏図・天井伏図

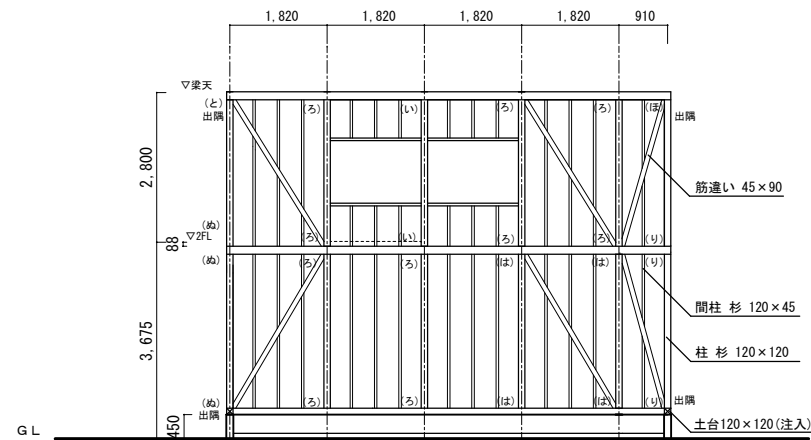
№ A-19



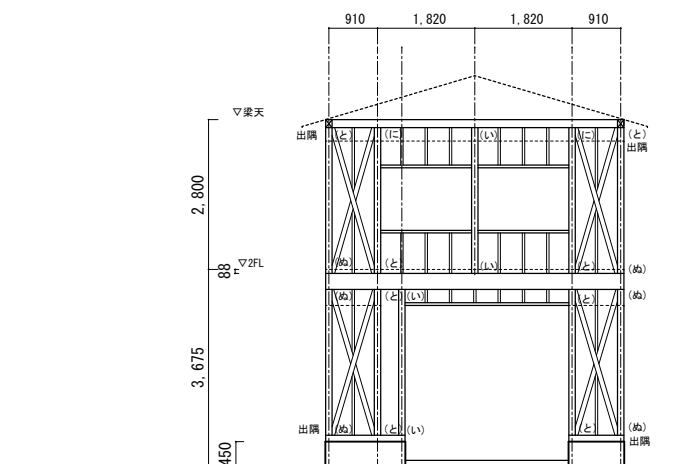
X1通り



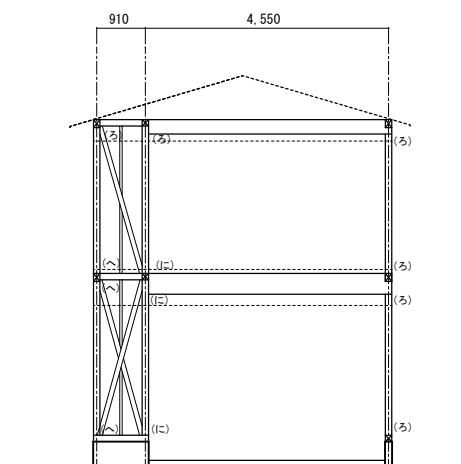
X2通り



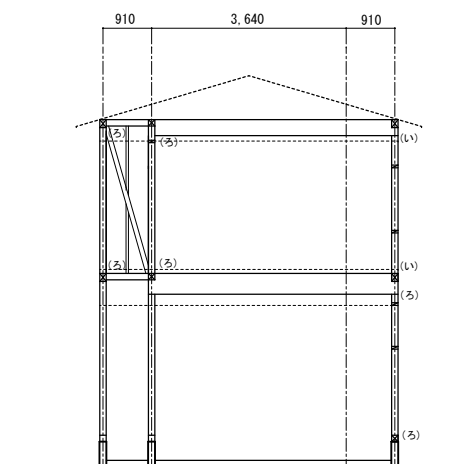
X6通り



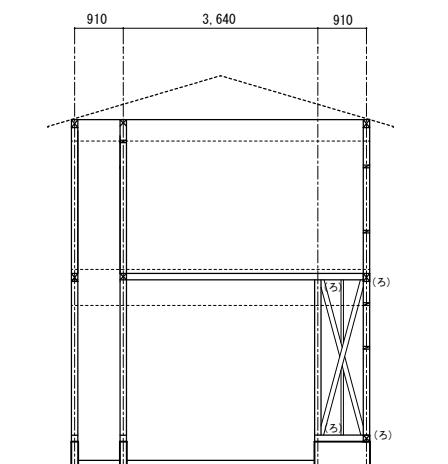
Y1通り



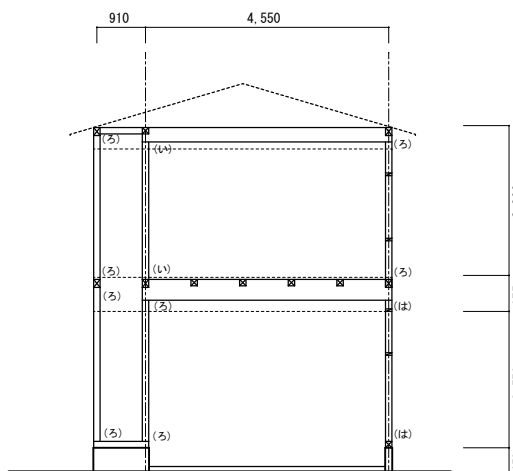
Y3通り



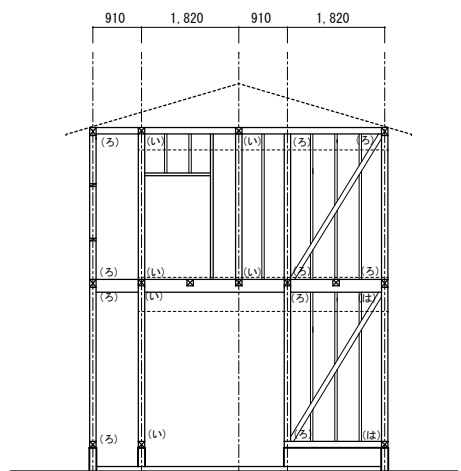
Y4通り



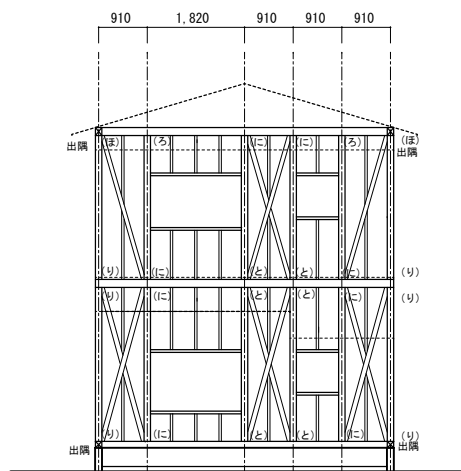
Y4'通り



Y5通り



Y6通り



Y7通り

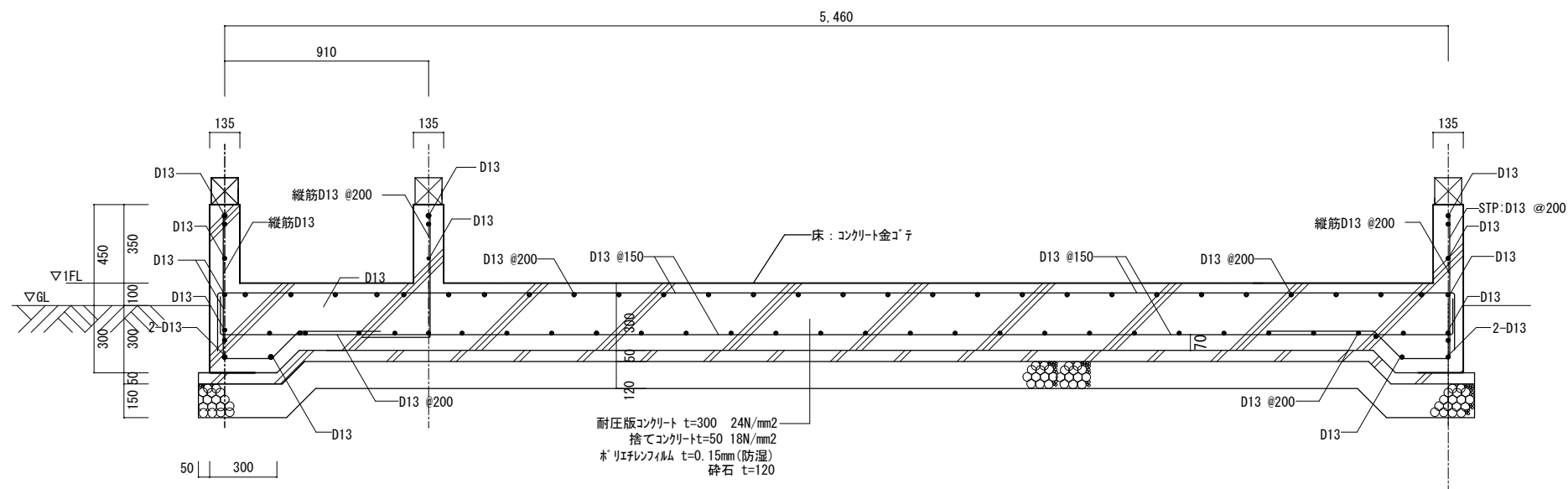
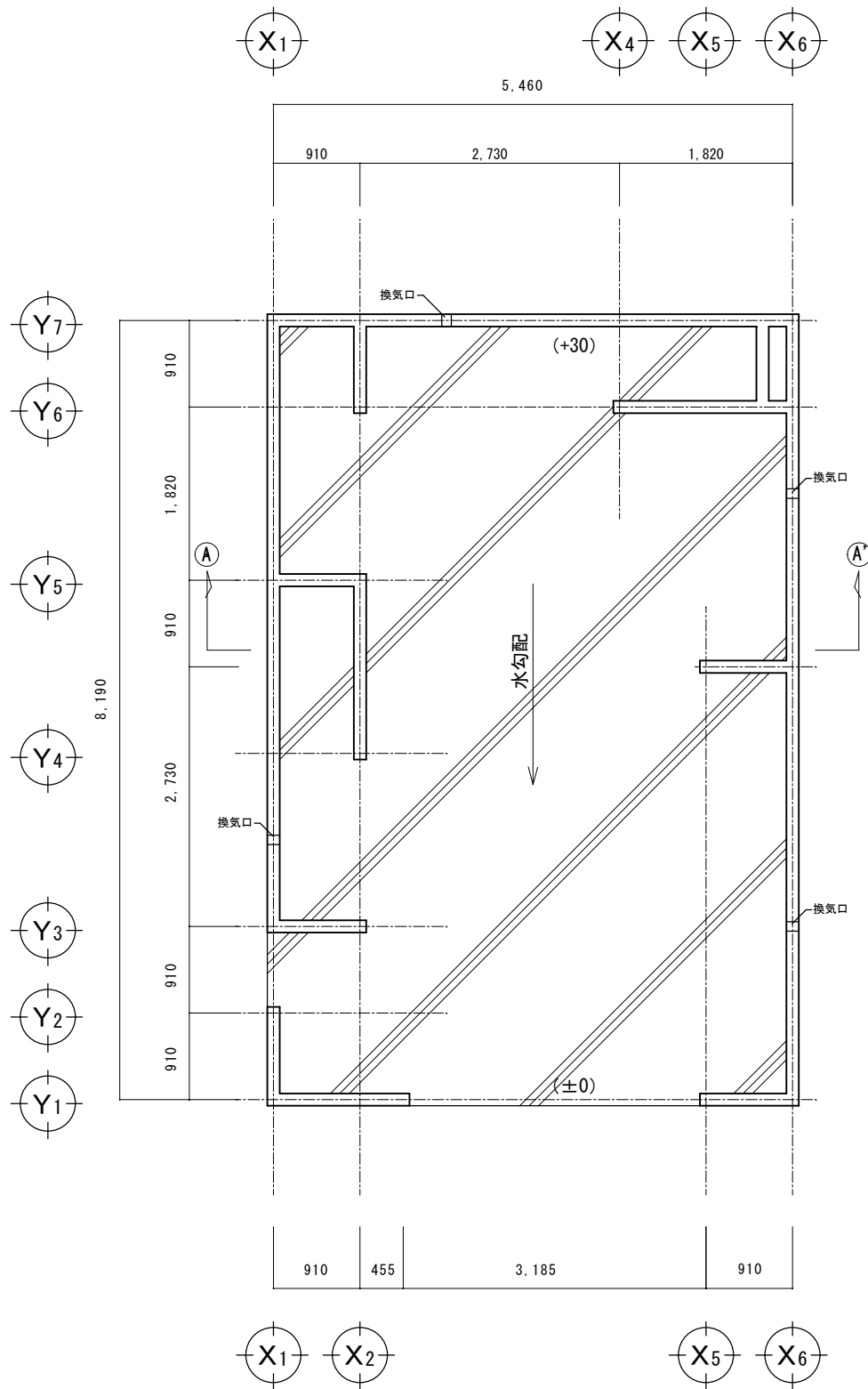


柱頭柱脚接合金物

告示表三	略称
(い)	カサノイ
(ろ)	CP-L
(は)	VP
(に)	SB-F2
(ほ)	SB-F
(へ)	HD-B10
(と)	HD-B15
(ち)	HD-B20
(り)	HD-B25
(ぬ)	HD-B15×2

筋交い接合金物

筋交いの種類	金物
筋交い (45×90)	筋交い7-1 (BP-2) 同等認定金物等

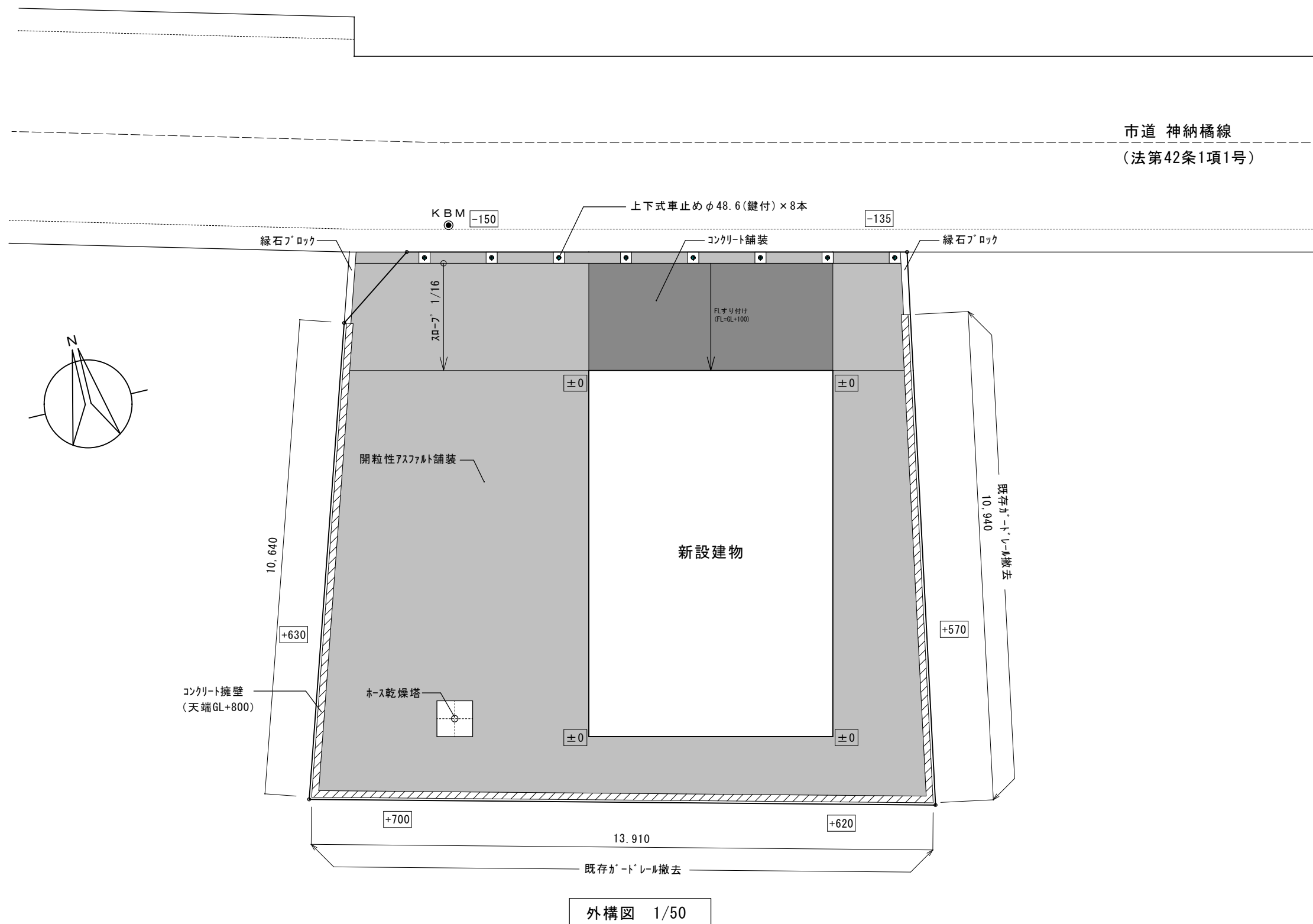
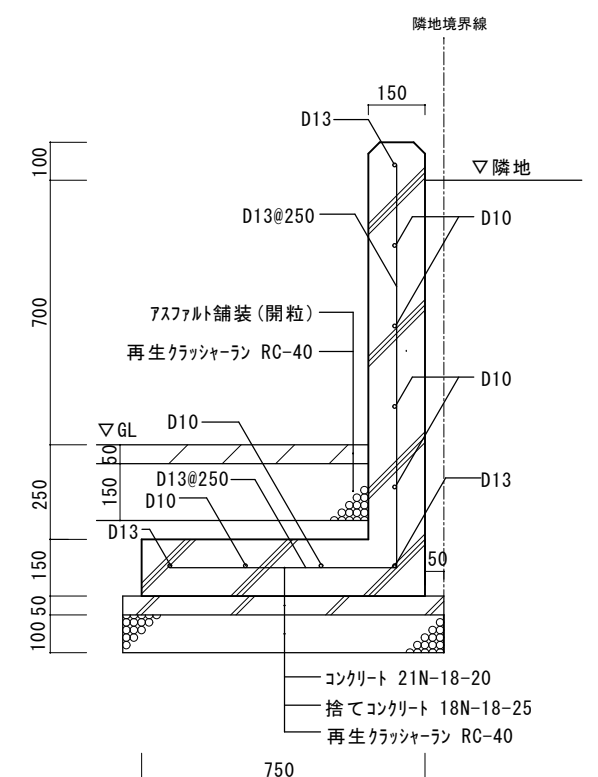
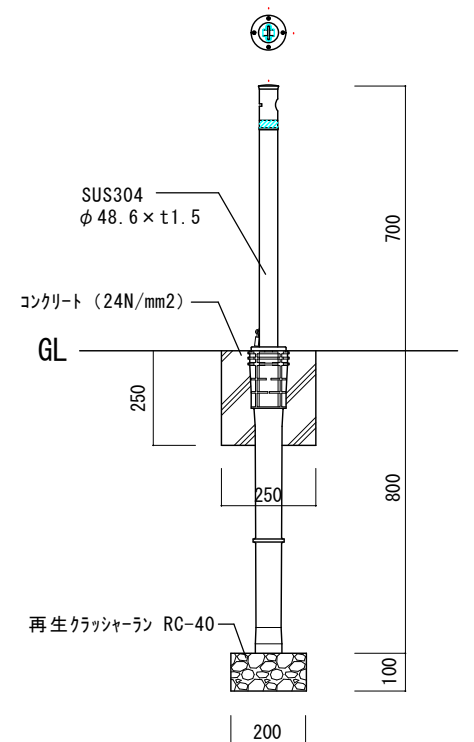
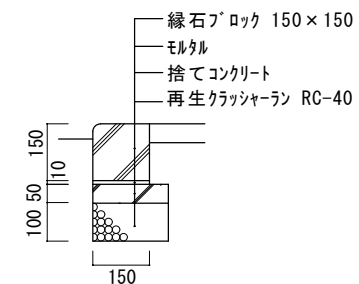
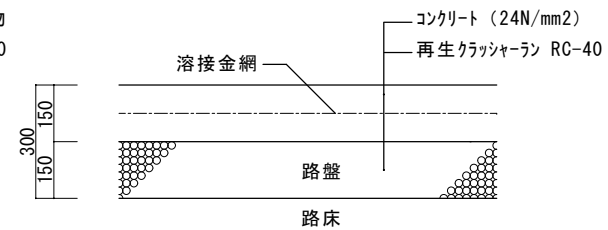
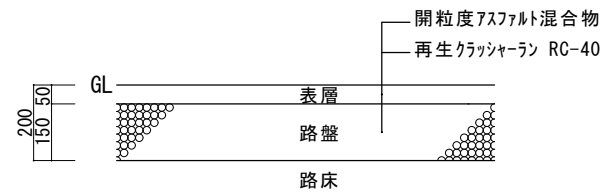


べた基礎 t=300
短辺: D13-@150^ナフル
長辺: D13-@200^ナフル
基礎梁 (135×750)
主筋 上: 2-D13 下: 2-D13
STP: D13-@200

A-A'断面 配筋図 1/20

梁貫通孔の補強筋				
斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	

基礎伏図 1/50

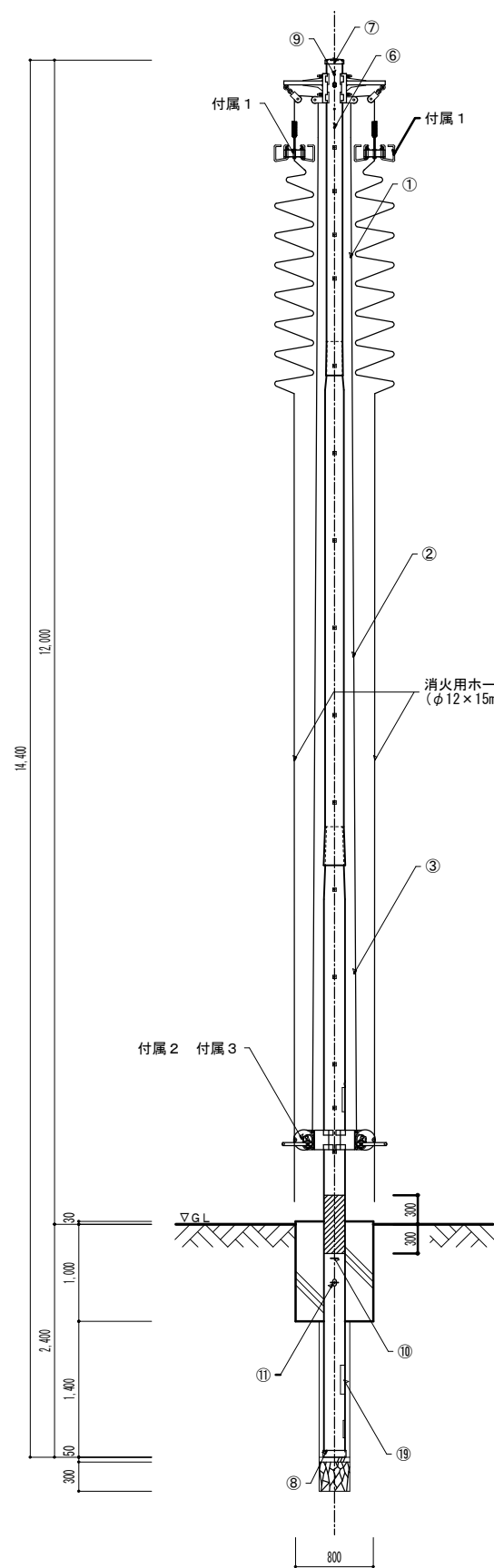


千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1-1

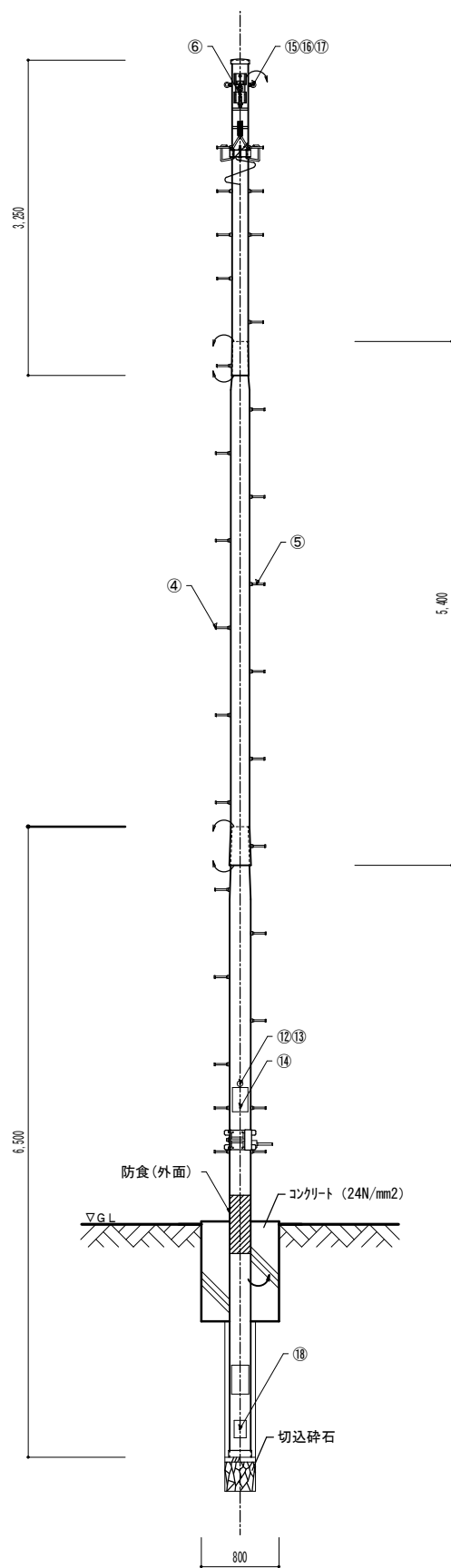
袖ヶ浦市役所 財政部 公共施設マネジメント課

承 認	設 計	担 当	縮 尺
		笹 原	A1 : 1/50
			設 計 年 月 日
			R8.8

工事名称 袖ヶ浦市消防団第15分団詰所建設工事（建築工事）



ホース乾燥塔 正面図 1/50

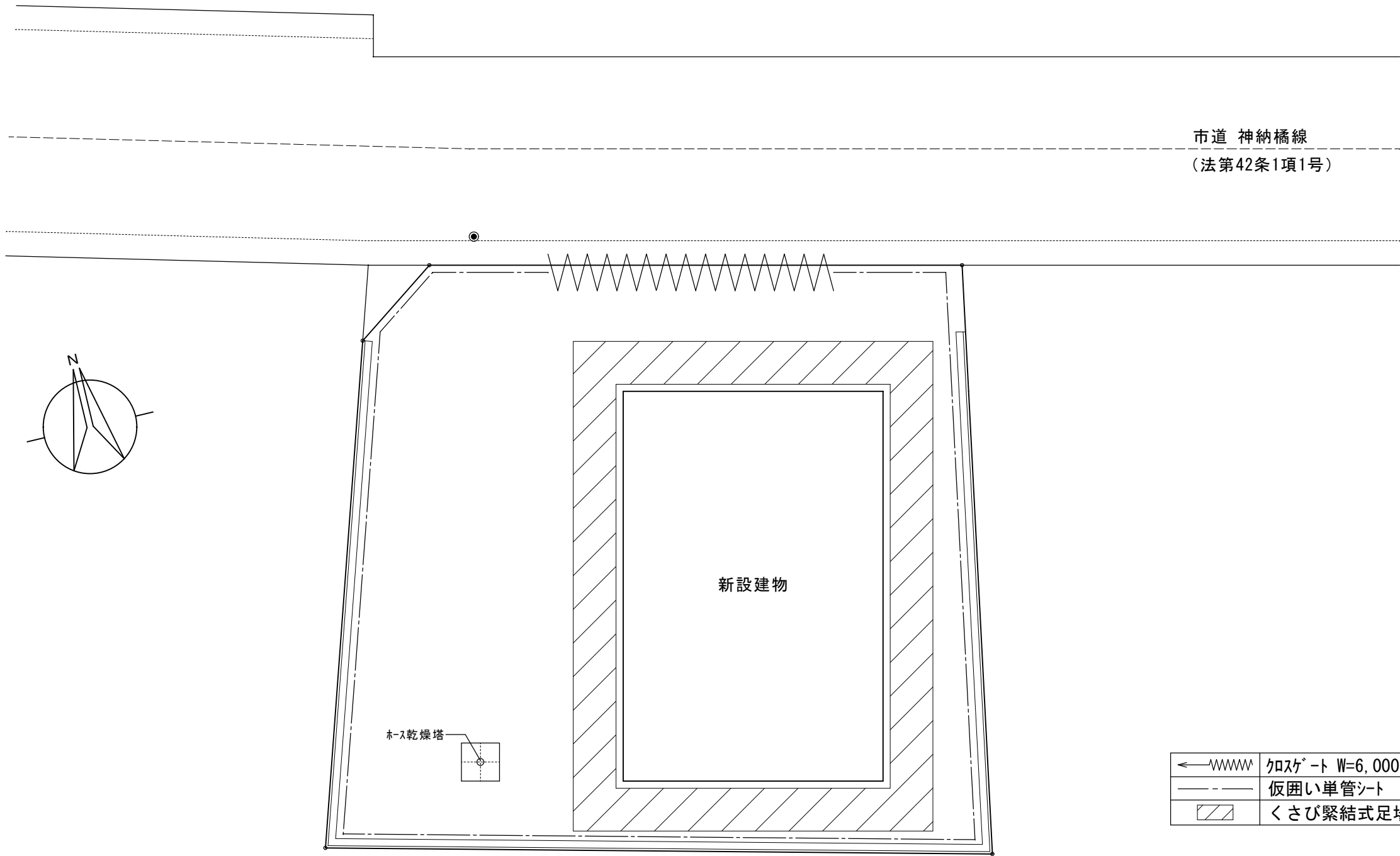


ホース乾燥塔 側面図 1/50

番 号	品 名	個 数	材 質	備 考
①	φ165.2×3.3 H=3250	1	SS400	
②	φ193 ×3.2 H=5400	1	STK490	
③	φ216.3×4.5 H=6500	1	STK540	
④	足場座 (C5型)	29	SAPH370	
⑤	足場ボルト (W5/8)	29	強度区分4.6	
⑥	連通管 (φ21.7×1.9-165)	4	STK400	
⑦	キャップ (φ165.2用)	1	SPHC	
⑧	底キャップ (φ216.3用)	1	SPHC	
⑨	ゴムブッシュ (φ20) t3.2・t4.0共用	1	EPDM	
⑩	六角ボルト M6×12×12	1	真鍮	
⑪	ゴムブッシュ (29×63有効径)	1	EPDM	
⑫	銘板 (NAホスポール)	1	アルミ	
⑬	銘板取付鉄	2	真鍮	
⑭	警告ラベル (安全に関するご注意)	1	白コートテロン ラミネート	
⑮	安全帯取付用足場座 (C3型)	2	SAPH370	
⑯	アイボルト (M16)	2	SS400	
⑰	中複用六角ナットM16 (付クリップ)	2組	強度区分4	
⑱	保管注意事項ラベル	1	上質紙	
⑲	NAホスポール工事説明書	1	上質紙	

番 号	品 名	個 数	材 質	備 考
付属1	ウインチ式吊下装置両側12本バンドレス型	1組		
付属2	ウインチ架台 (両側用: 併用タイプ)	1組		
付属3	ウインチ (GM-3-GS-SI-NA) ※カバー付き (右用)	2組		

注記: 品番19はビニールで梱包後、ガムテープ等で貼付
てう: ケーブルガイド用リード線を示す。
表示: 接合表示
地際表示 (1/4円周に黄色表示)
防食: 環境配慮型塗料塗布 (ノントール系)
仕上: 熔融亜鉛めっき450g/m以上
(ボルト類350g/m以上)



← WWWW	クサギゲート W=6,000×H=1,800	1箇所
---	仮囲い単管シート H=2,000	44m
▨	くさび緊結式足場	

仮設計画図 1/50